

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 本製品施工の際は、「ウンスリーポート組立部品セット」に同梱の取付説明書を併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立ねじ・ボルトを使用してください。又施工後ねじ・ボルトにゆるみがないか点検してください。
- ・柱移動は当社指定範囲内にしてください。

●施工について

- ・指定以外の改造・変更(階段屋根・母屋への取付けなど)をしないでください。

●取付け上について

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。専門知識のない方が取付けされると不具合発生の原因となる場合があります。

■取付け上のお願い

- 折板は必ず2つ以上の梁にのるようにしてください。
- 折板の梁からの持出し寸法は本体取付説明書に記載された標準納まり以下の寸法にしてください。
- 1台・2台用の設定となります。
- 形材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- 縦どいについて
 - ・縦どいは必ず指定本数以上取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングをしてください。

■梱包明細表

●異形コーナブロックセット

名 称	員 数		
	出隅	入隅	隅切り
異形コーナブロック(出隅用)	1	—	—
異形コーナブロック(入隅用)	—	1	—
異形コーナブロック(隅切り)	—	—	1
ナベテクス小ねじφ4×16	10	10	10
取付説明書—異形コーナブロック—(D404)	1	1	1
側枠連結金具(自在用)A	—	—	2
側枠連結金具(自在用)B	—	—	1
ナベタッピンねじ(3種)φ4×16	—	—	6
雨どい連結パッキン	—	—	1
ブチルコーキング(100g)	—	—	1
※ナベテクス小ねじφ4×16(側枠・折板固定用)	2	2	2

※施工状況に合わせてご使用ください。(下穴不要)

●側枠台形部品セット

名 称	員 数
側面台形パッキン	1
側面台形水切り(L/R)	各1
ナベテクス小ねじφ4×16	18
取付説明書—異形コーナブロック—(D404)	1
側面台形水切り用防水シール	1
※ナベテクス小ねじφ4×16(側枠・折板固定用)	2

※施工状況に合わせてご使用ください。(下穴不要)

●雨どい端部キャップセット

名 称	員 数
雨どい端部キャップ(L/R)	各1
ナベタッピンねじ(3種)φ5×12	6

●側枠セット

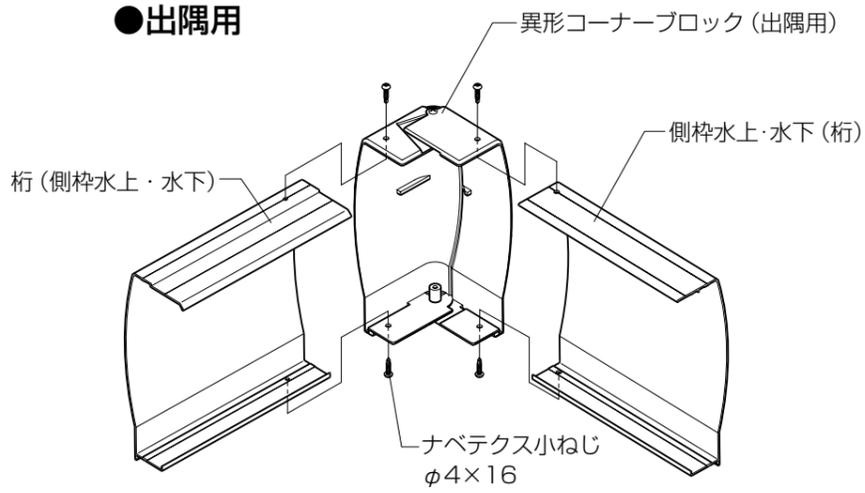
名 称	員 数	
	側枠(水上)	側枠(水下)
側枠(水上)	1	—
側枠(水下)	—	1

●桁セット

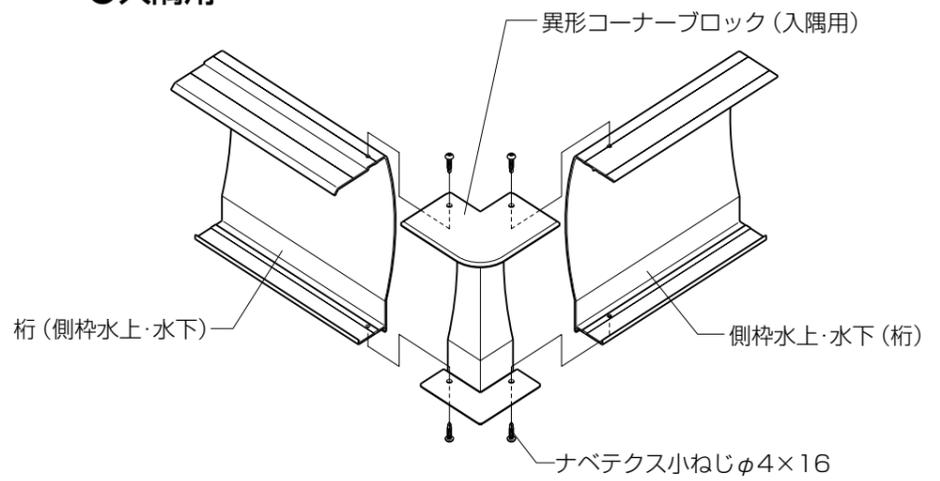
名 称	員 数	
	桁	桁(側枠台形用)
桁	1	—
桁(側枠台形用)	—	1
桁カバー(側枠台形用)	—	1

■構成図

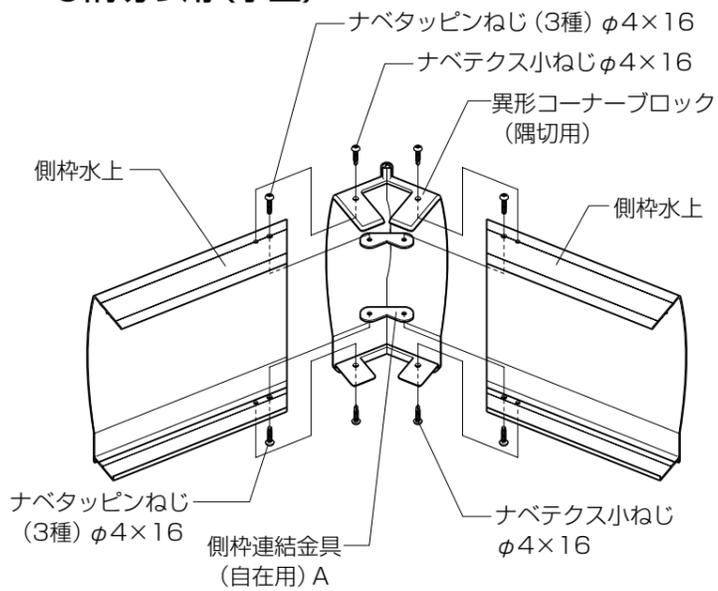
●出隅用



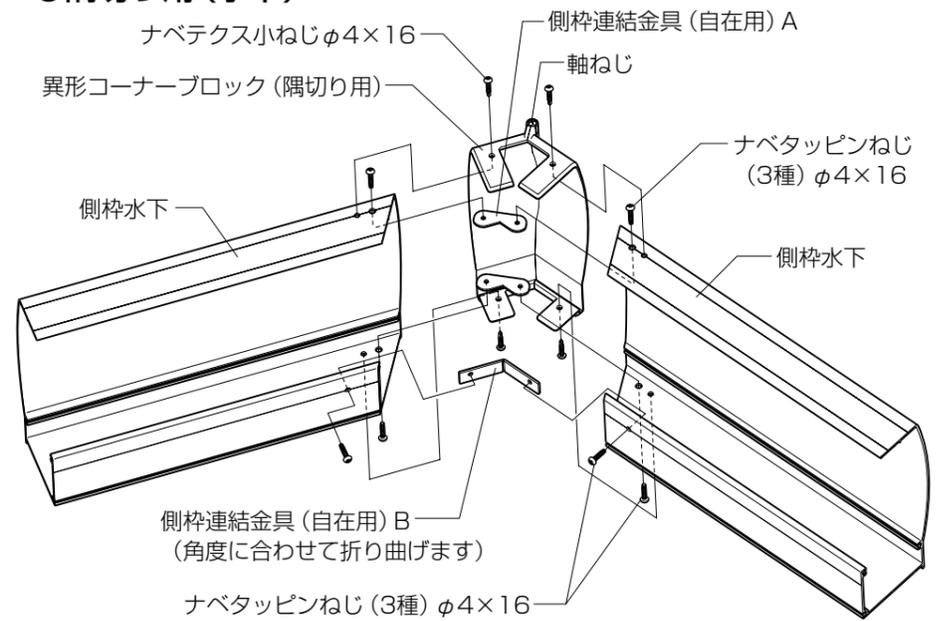
●入隅用



●隅切り用 (水上)

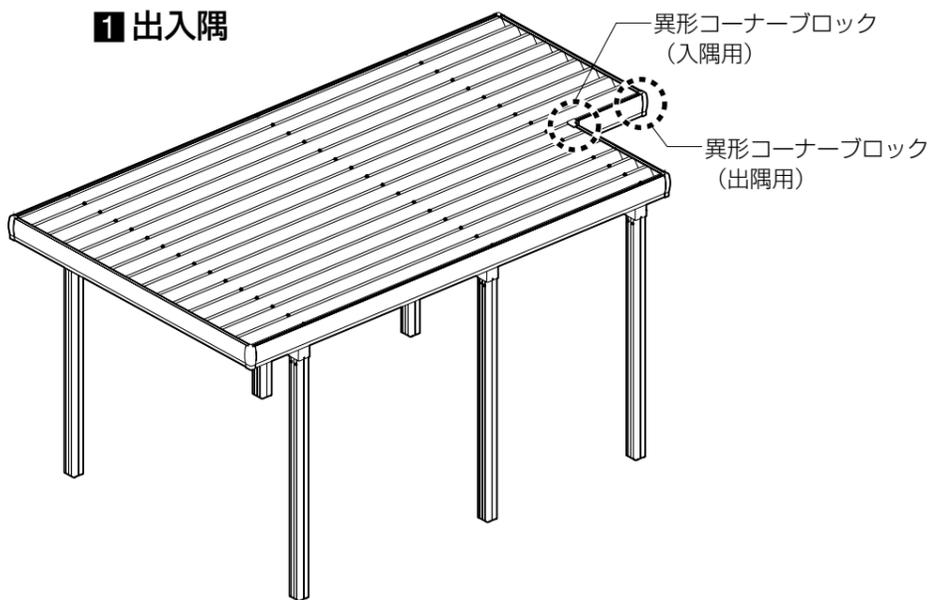


●隅切り用 (水下)

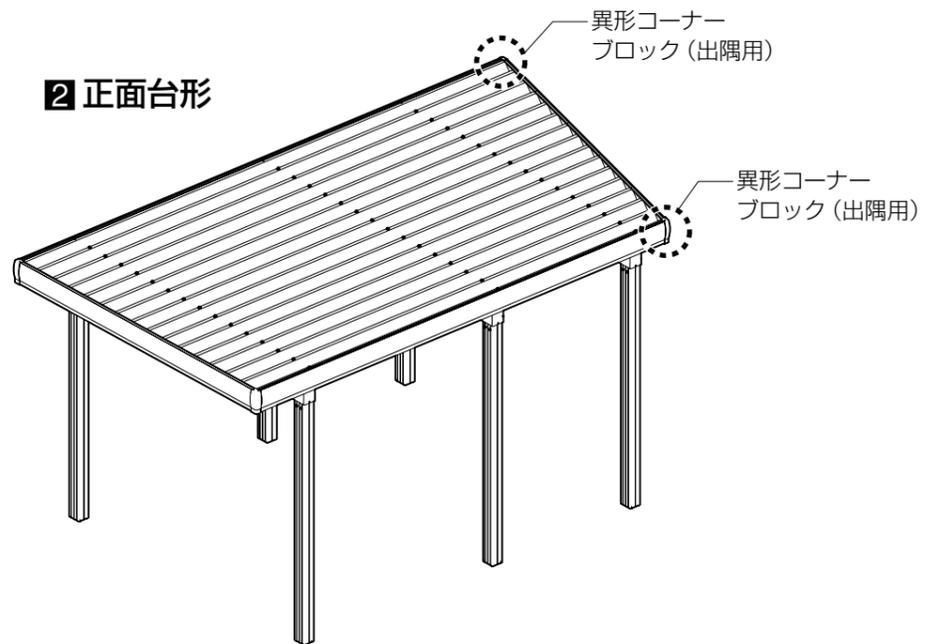


■各納まり図

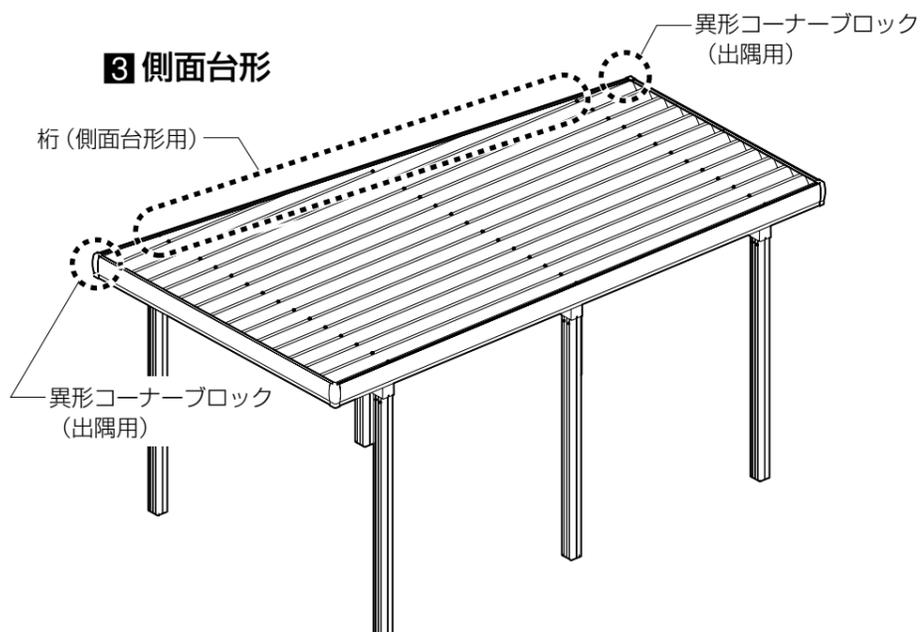
1 出入隅



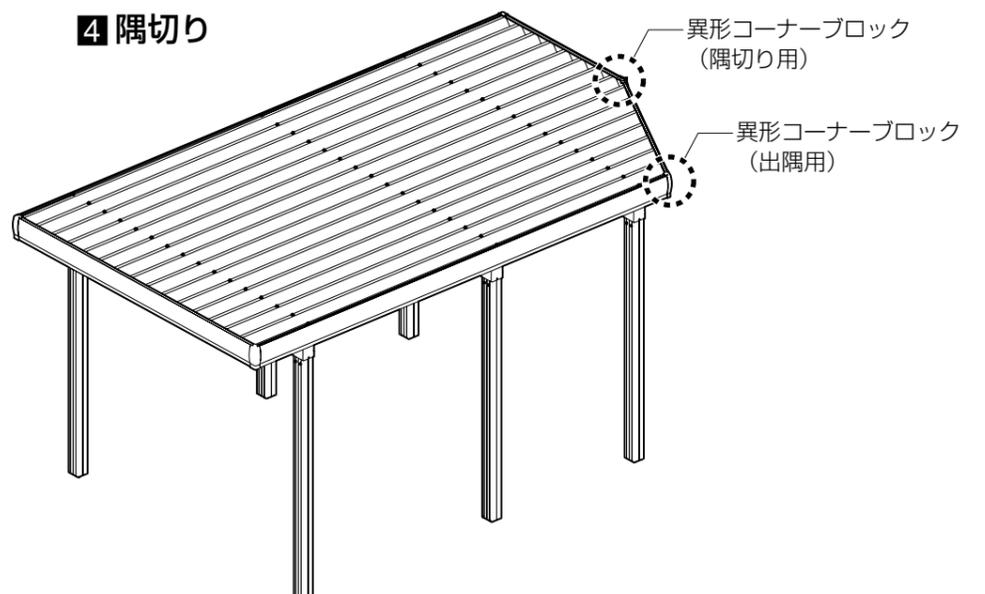
2 正面台形



3 側面台形

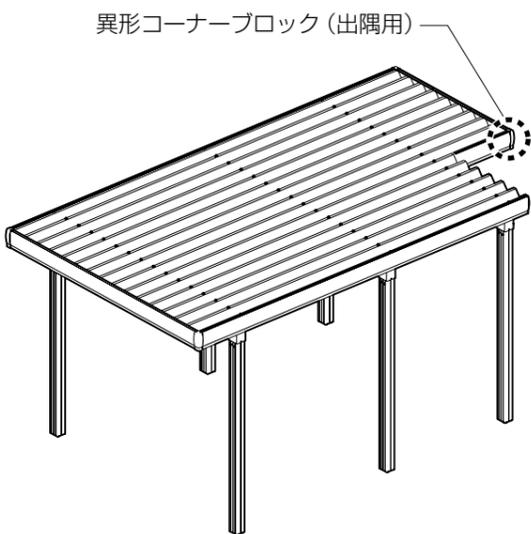


4 隅切り



■取付け順序 (各納まり例)

1 出入隅の取付け



異形コーナーブロック (出隅用)

■取付け詳細

1 出入隅の取付け

【出隅コーナーの取付け】

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めてタイトフレームおよび折板に固定してください。

※異形コーナーブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足1を参照してください。

※水下的場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

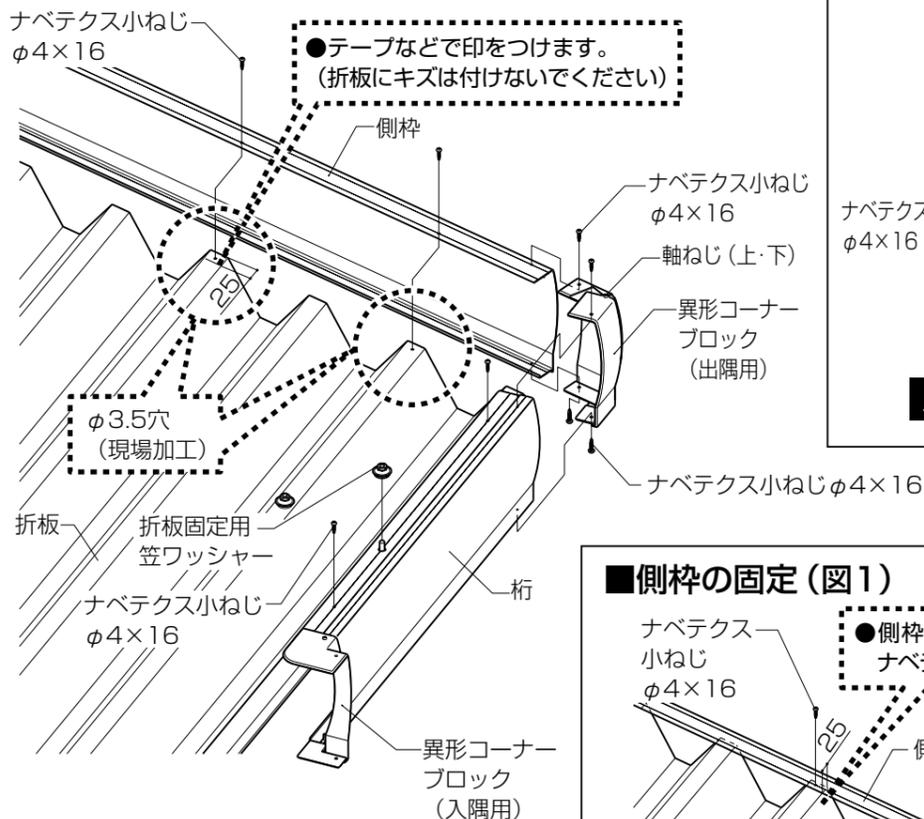
①異形コーナーブロック (入隅用) を桁の入隅側に取付け、タイトフレームおよび折板に固定します。
(タイトフレームのない場合は折板への固定のみになります)

②下図のように折板の端部から25mmの位置にフェルトペン又はテープなどで位置をしるします。

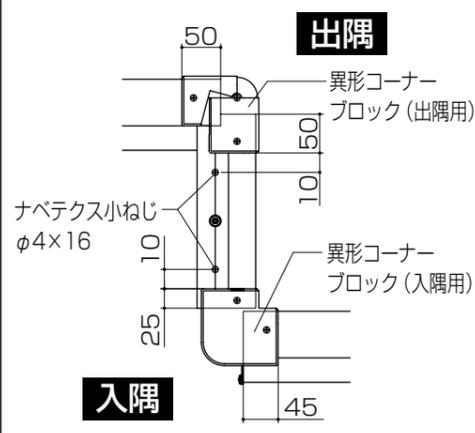
※サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズを付けしないでください。

③コーナーブロックおよび異形コーナーブロック (出隅用) を側枠に取付け、側枠をナベテクス小ねじで固定します。(図1参照)

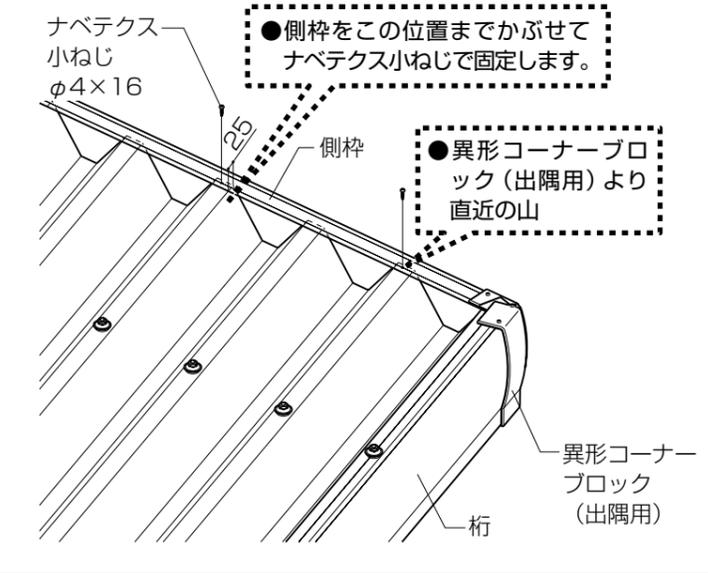
④自在コーナーブロックの軸ねじ (上・下) を締付けます。



■桁・側枠の差込み寸法 (補足1)



■側枠の固定 (図1)



【入隅コーナーの取付け】

※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて、タイトフレームおよび折板に固定してください。

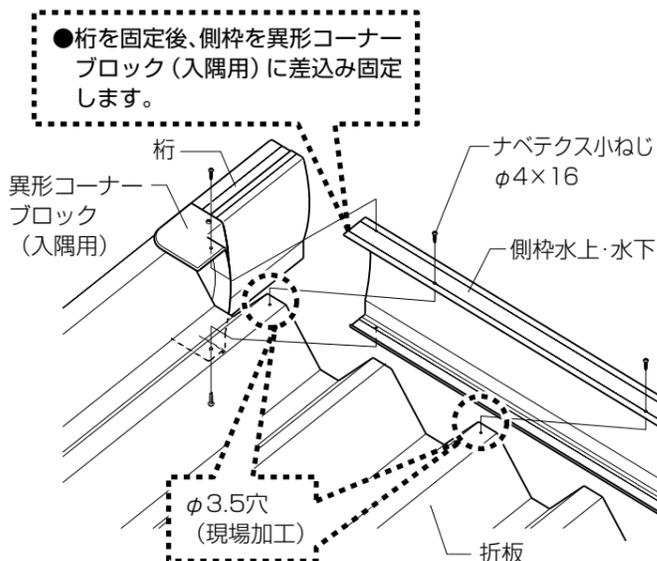
※異形コーナーブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足1を参照してください。

※水下的場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

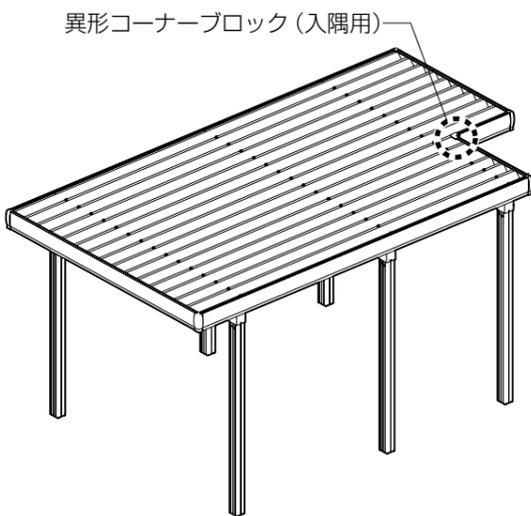
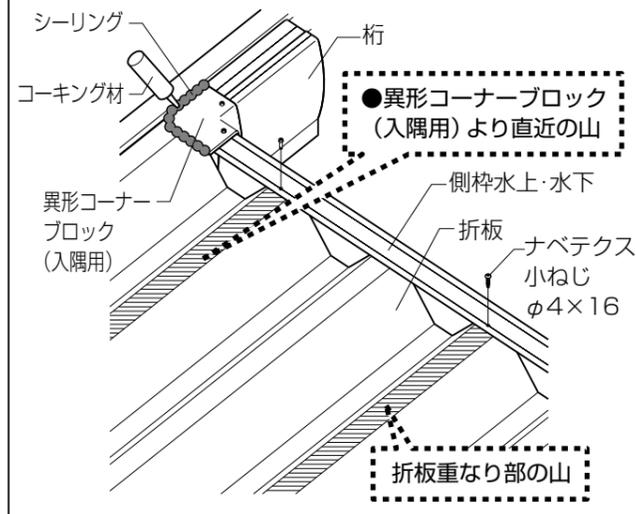
①異形コーナーブロック (入隅用) を取付けた桁をタイトフレームおよび折板に固定します。(タイトフレームのない場合は折板への固定のみになります)

②側枠を異形コーナーブロック (入隅用) に差込み、側枠を入隅直近の山および折板の重なり部にナベテクス小ねじで固定します。(図2参照)

③図にしたがい、異形コーナーブロック (入隅用) のまわりにシーリングをします。(図2)



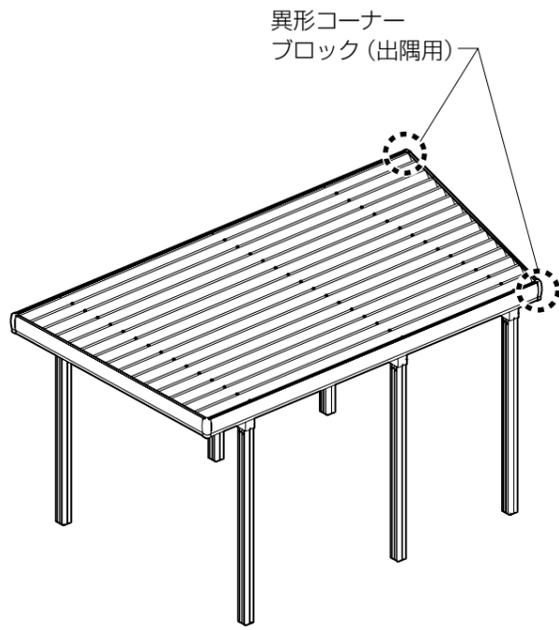
■側枠の固定 (図2)



異形コーナーブロック (入隅用)

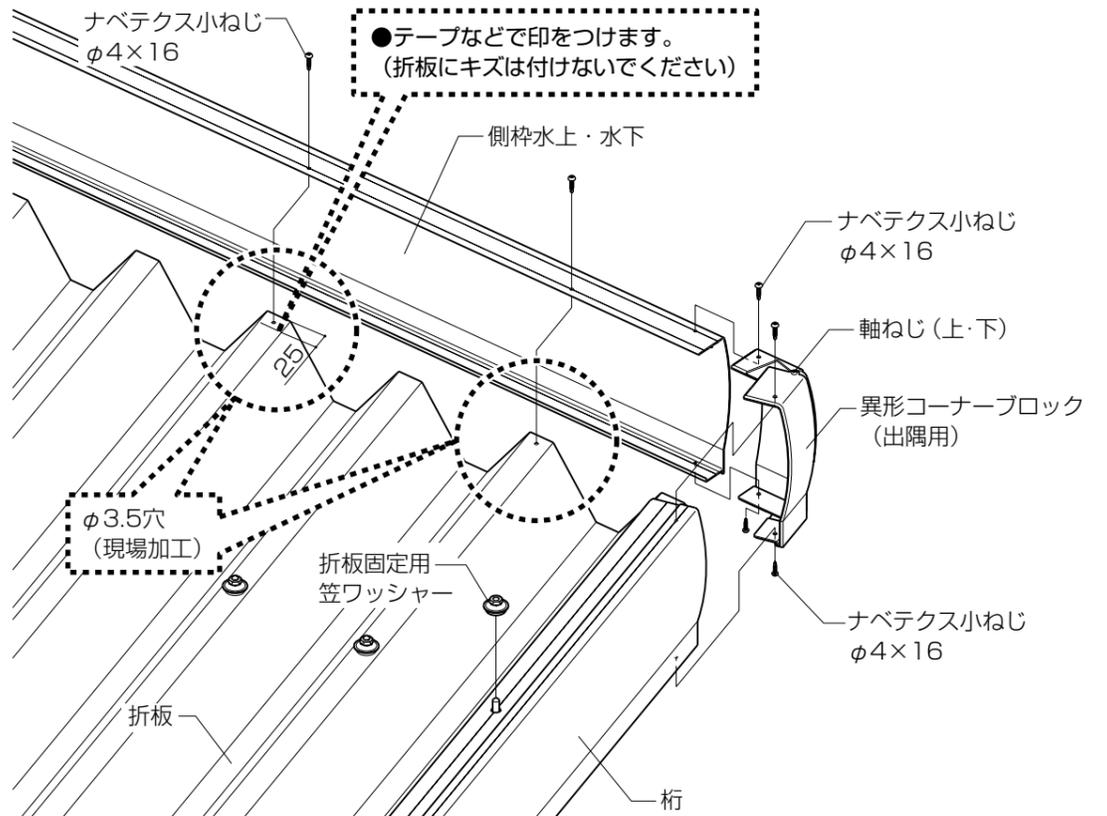
お願い
※指定の個所に必ずシーリングをしてください。

2 正面台形の取付け

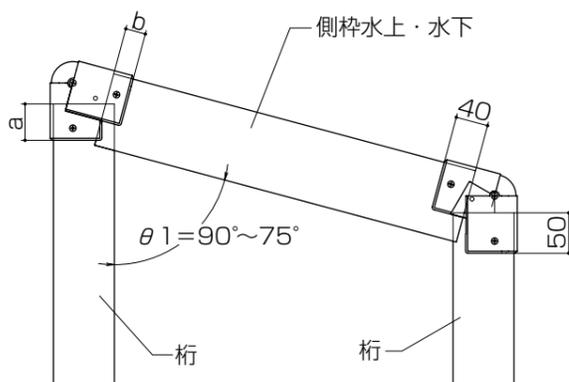


2 正面台形の取付け

- ※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて、タイトフレームおよび折板に固定してください。
 ※異形コーナブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足2を参照してください。
 ※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。
- ①桁をタイトフレームに固定します。
 - ②下図のように折板の端部から25mmの位置にフェルトペン又はテープなどで位置をしるします。
 ※サビの原因になるため、ケガキ線で折板にキズを付けないでください。
 - ③異形コーナブロック (出隅用) を側枠に取付け、側枠をナベテクス小ねじで固定します。(図3参照)
 - ④異形コーナブロック (出隅用) を桁に固定します。
 - ⑤異形コーナブロック (出隅用) の軸ねじ (上・下) を締付けます。



■桁・側枠の差込み寸法 (補足2)

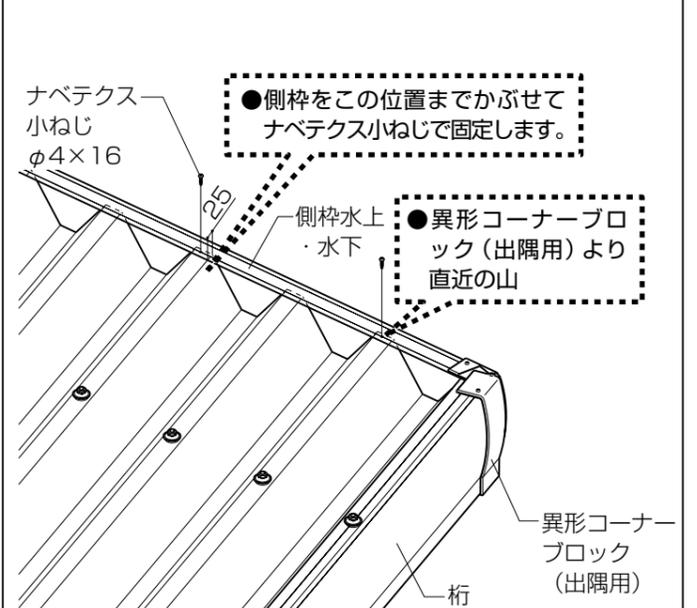


●差込み寸法a・b

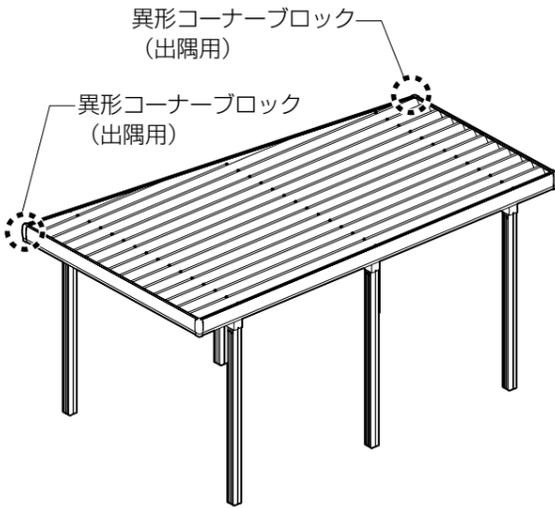
θ1	a	b
90°	50	40
87°	50	37
84°	50	34
81°	50	31
78°	48	28
75°	45	25

(本表は鋭角側を示します)

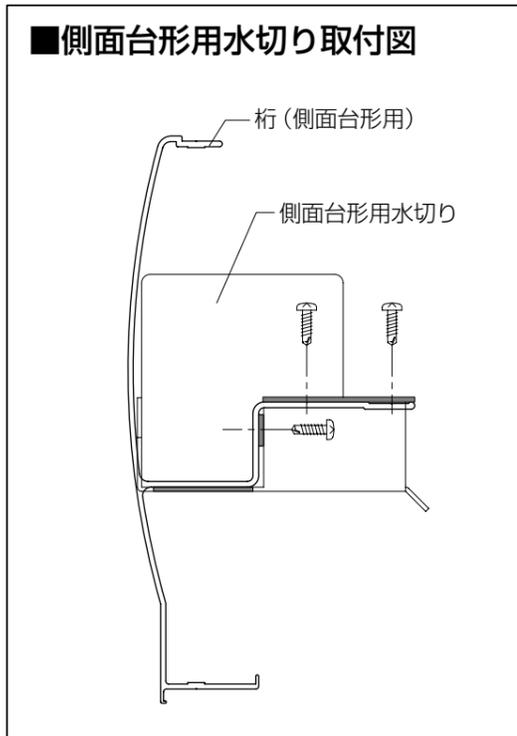
■側枠の固定 (図3)



3 側面台形の取付け



お願い
※指定の個所に必ずシーリングをしてください。

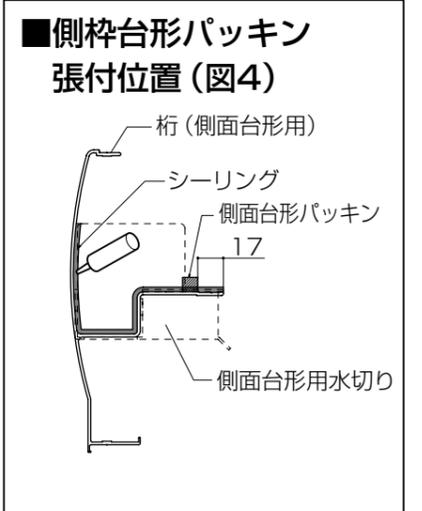
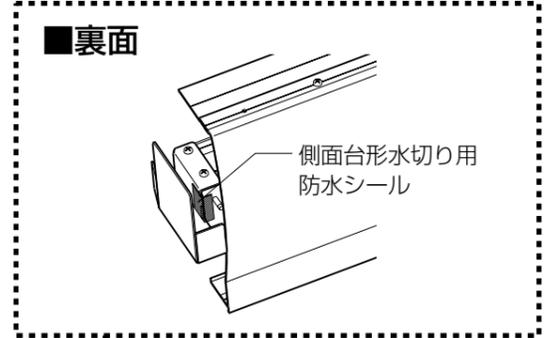
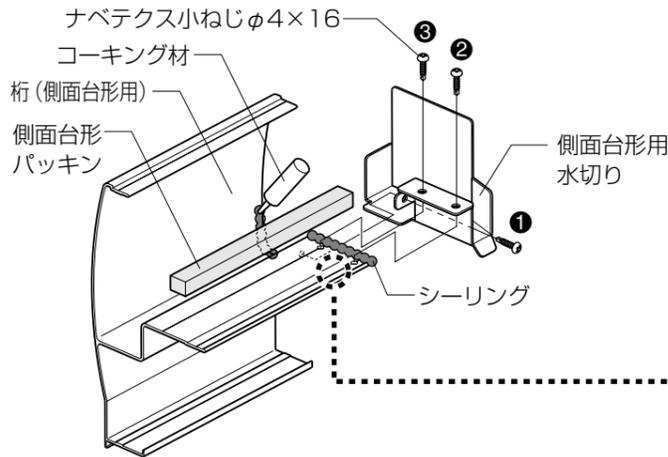


お願い
※指定の個所に必ずシーリングをしてください。

3 側面台形の取付け

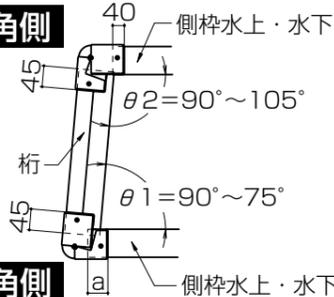
※下記手順にしたがって桁・側枠の位置を決めて梁、タイトフレームおよび折板に固定してください。
※タイトフレームおよび折板を取付ける前に固定してください。
※異形コーナブロックへの桁、側枠水上・水下の差込み寸法は補足3を参照してください。
※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。

- ①側面台形用水切りを桁（側面台形用）水下側取付け位置にシーリングを施し、そこに側面台形水切りを取付けてください。
- ※下図のねじ番号順に固定します。
- ②側面台形水切り用防水シールを張り、側面台形水切りの全周にシーリングを施します。（図4）
- ③側面台形パッキンを桁（側面台形用）の全長に張付けます。（図4参照）



桁・側枠の差込み寸法(補足3)

鈍角側



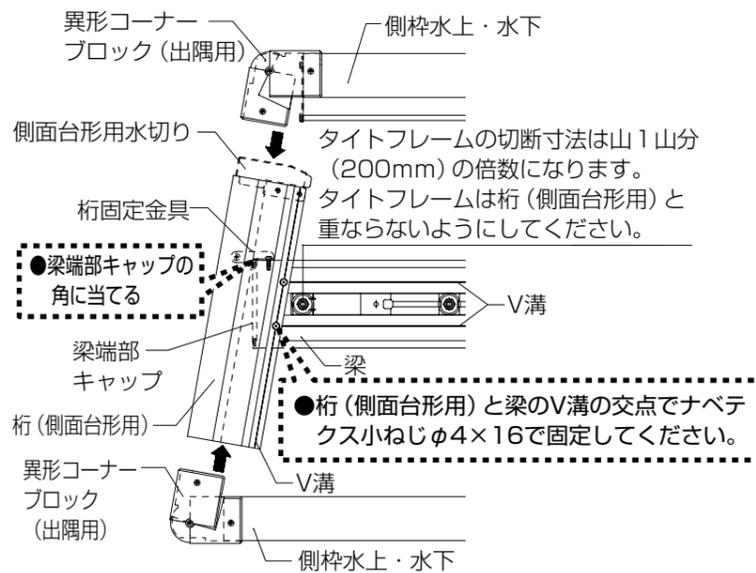
●差込み寸法a

θ1	a
90°	40
85°	35
80°	30
75°	25

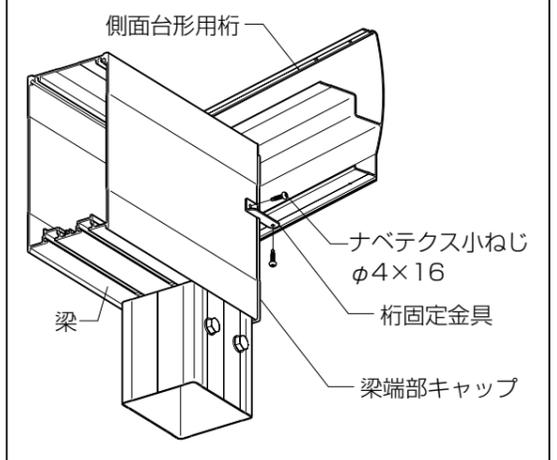
(aが鋭角側)

鋭角側

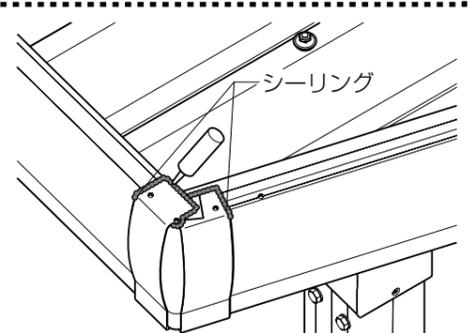
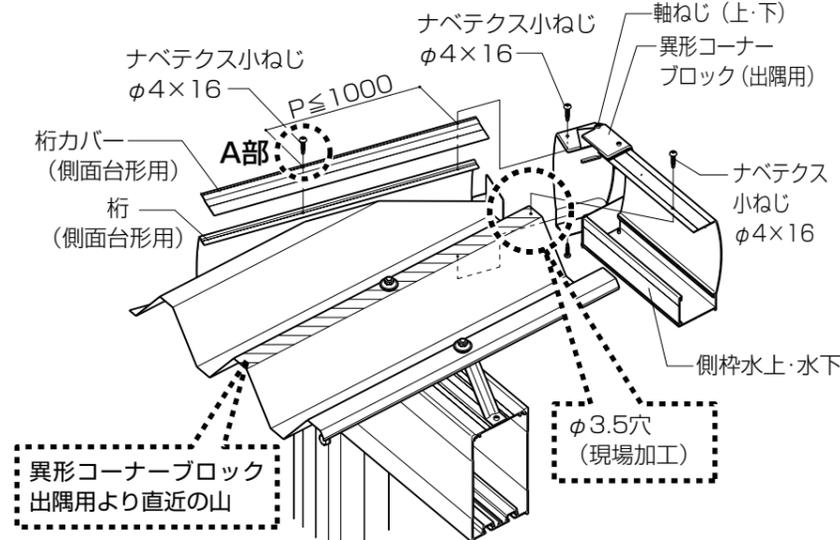
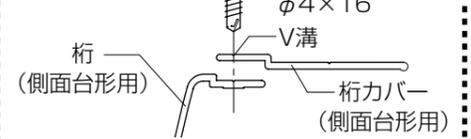
- ④桁（側面台形用）を梁端部キャップに当てながら、ナベテクス小ねじで梁に固定します。
※桁固定金具は桁と梁端部キャップの接触する側に取付けてください。（図5参照）
- ⑤タイトフレームと折板を取付けてください。
- ⑥桁カバー（側面台形用）をナベテクス小ねじでV溝位置に固定します。
- ⑦異形コーナブロック（出隅用）を取付けた側枠水上・水下进行に折板にナベテクス小ねじで固定します。
- ⑧異形コーナブロック（出隅用）を桁にナベテクス小ねじで固定します。
- ⑨異形コーナブロック（出隅用）の軸ねじ（上・下）を締付けます。



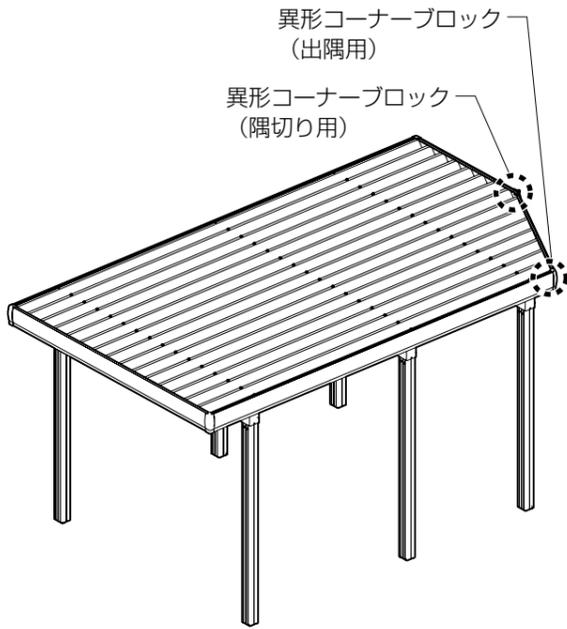
桁固定金具の取付位置(図5)



桁カバー（側面台形用）取付位置(A部詳細図)

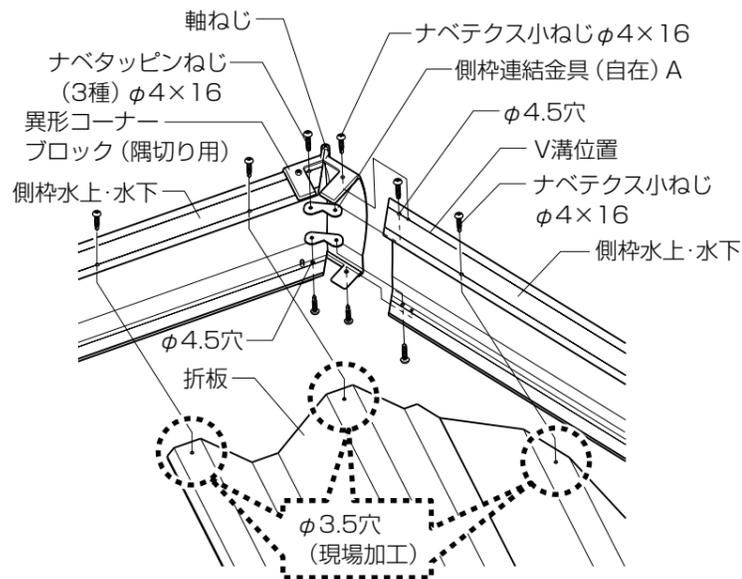


4 隅切りの取付け



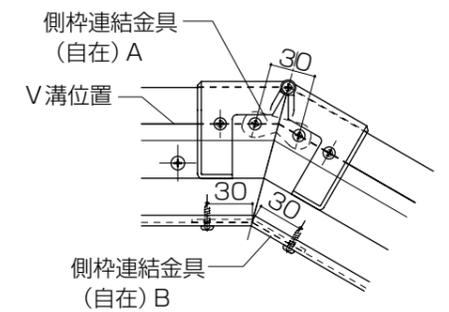
4 隅切りの取付け

- ※下記手順にしたがって側枠の位置を決めて折板に固定してください。
 ※異形コーナーブロックへの側枠の差込みは止め切りで納まるようにしてください。
 ※水下の場合は、側枠水下に雨どい端部キャップを取付けてください。
- ①異形コーナーブロック (隅切り用) をナベテクス小ねじで側枠水上・水下に取付けます。
 - ②側枠を側枠連結金具 (自在用) A で固定します。
 ※側枠水下を連結する際は側枠連結金具 (自在用) B も固定してください。
 ※側枠連結金具 (自在用) A および B の取付け位置は補足4を参照してください。
 - ③側枠の継ぎ目と金具の周りにシーリングをします。
 ※側枠水下の場合のみ雨どい連結パッキンを図のようにアーチ状に曲げて連結部をまたぐように張付け、まわりをシーリングします。(補足5参照)
 - ④側枠を隅切り直近の山および折板の重なり部にナベテクス小ねじで固定します。(図6参照)
 - ⑤異形コーナーブロック (隅切り用) の軸ねじ (上・下) を締付けます。

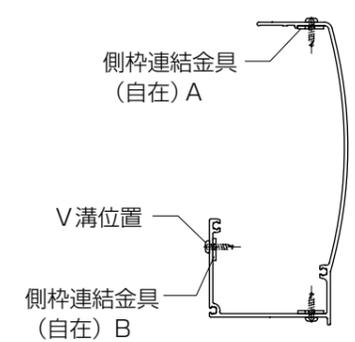


■側枠連結金具の取付け位置 (補足4)

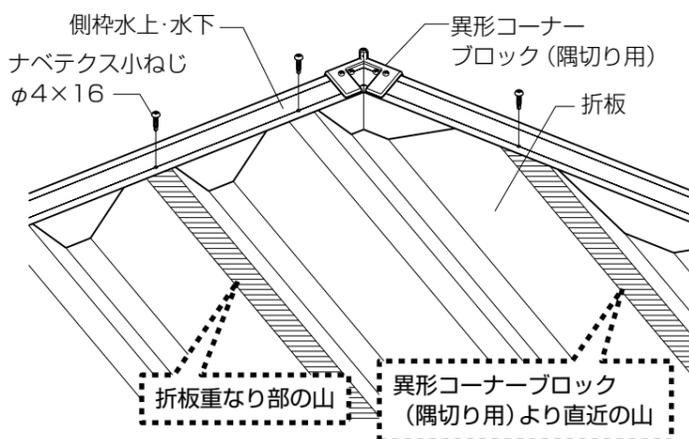
●平面



●断面

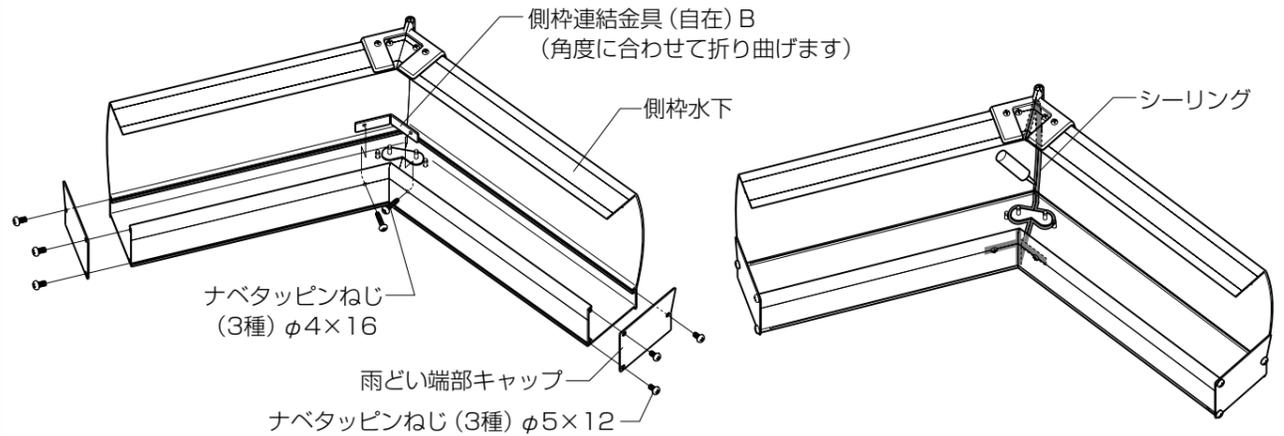


■側枠の固定 (図6)

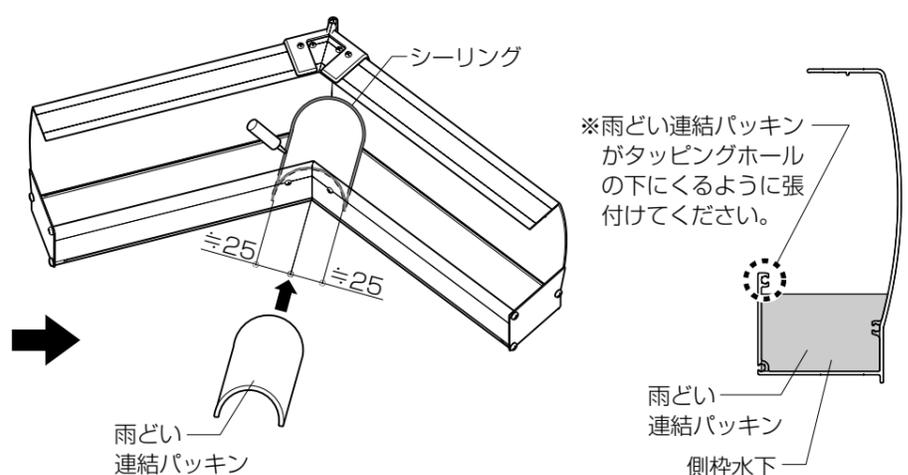
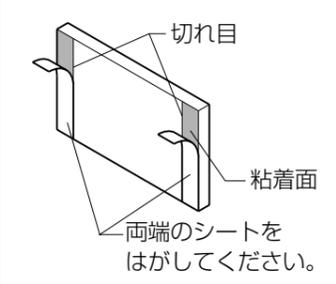


お願い
 ※指定の個所に必ずシーリングをしてください。

■側枠水下を取付ける場合 (補足5)



■雨どい連結パッキン



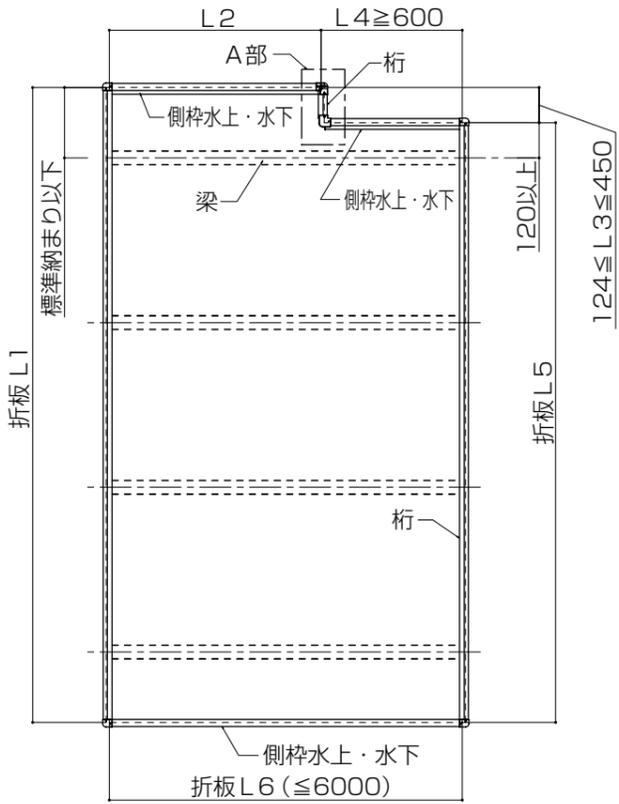
■各納まり例

1 出入隅

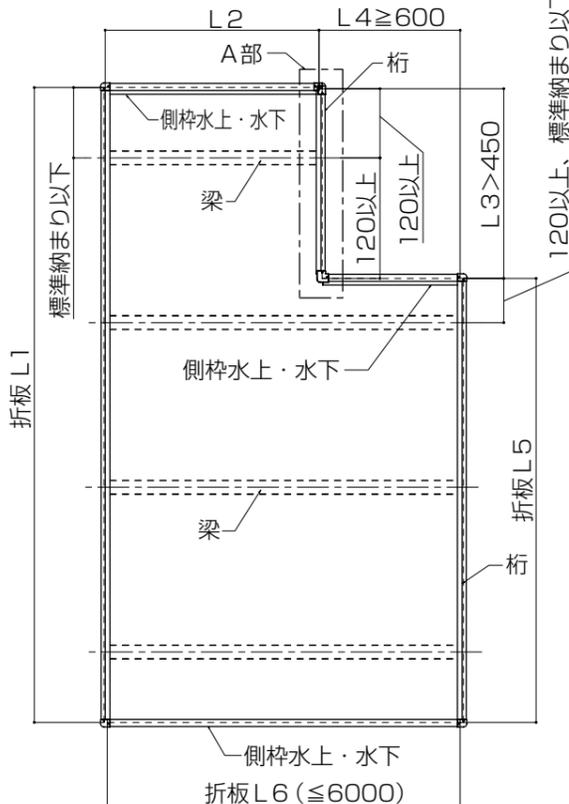
■製作制限

- ※基本図を参照の上、作製してください。
- ※折板は必ず2つ以上の梁（タイトフレーム）にとめてください。
- ※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- ※1台・2台用の設定となります。
- ①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。

●入隅部に梁が入らない場合



●入隅部に梁が入る場合

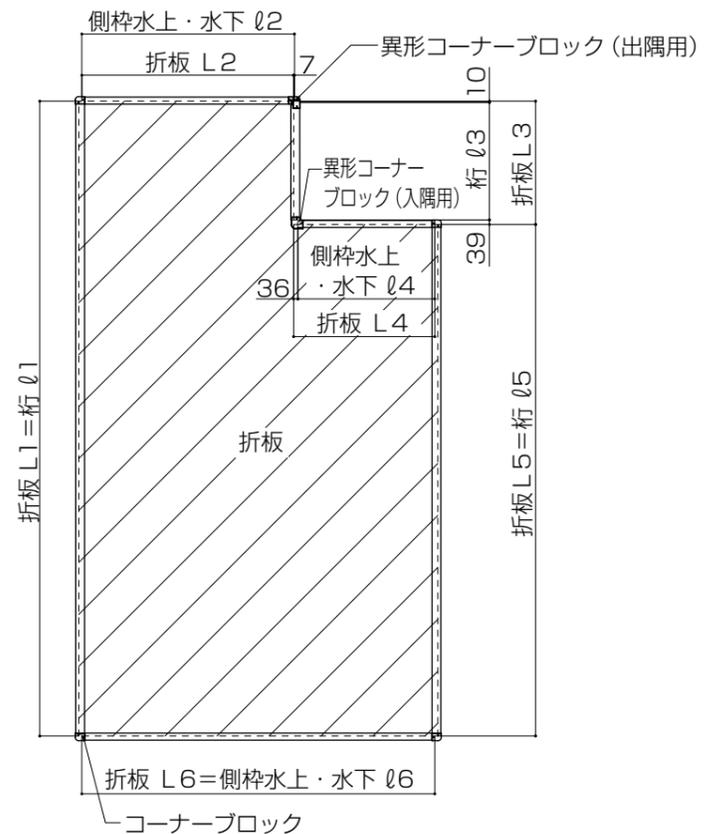
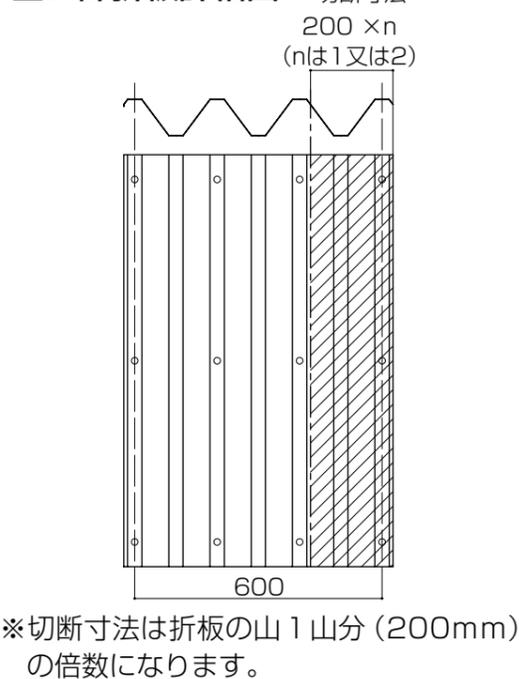


●製作可能寸法表

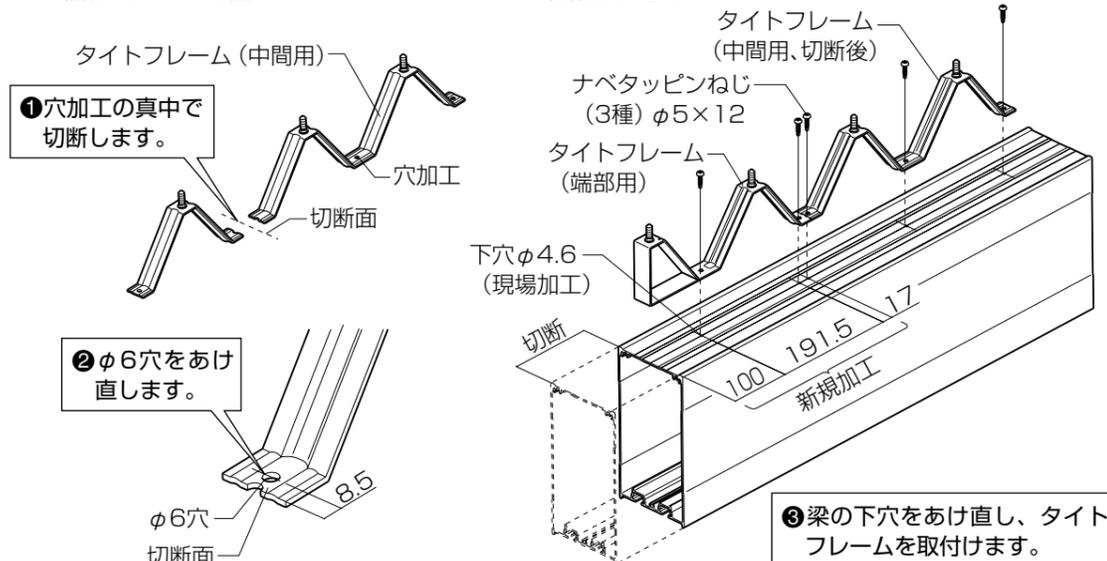
タイプ	サイズ		柱本数	出入隅			
				L3		L4	
	幅	長さ		最小	最大	最小	最大
900 1500	30	55	4	124	450	600	2400
	30	60	4	124	450	600	2400
	55	55	4	124	450	600	4800
	55	60	4	124	450	600	4800
	60	55	4	124	450	600	5400
	60	60	4	124	450	600	5400
3000	30	55	4	124	450	600	2400
	30	55	6	124	2579	600	2400
	30	60	4	124	450	600	2400
	30	60	6	124	2879	600	2400
	55	55	6	124	2579	600	4800
	55	60	6	124	2879	600	4800
4500	60	55	6	124	2579	600	5400
	60	60	6	124	2879	600	5400
	30	55	6	124	2579	600	2400
	30	60	6	124	2879	600	2400
	55	55	8	124	3279	600	4800
	55	60	8	124	3679	600	4800
	60	55	8	124	3279	600	5400
	60	60	8	124	3679	600	5400

- 敷地にあわせてL1、L3、L5、L6を決めてください。
- 折板の切断位置（A部）が右図のようになるようにL4を設定してください。
※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。サビの原因となります。
※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- 柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L6の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。（ウンスリーポート（本体）取付説明書〈D398〉参照）
- 部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

■A部折板詳細図



※入隅部に梁が入る場合で切断寸法が600mm（タイトフレーム中間用1個分）の倍数でない場合、タイトフレームの切断加工が必要になります。



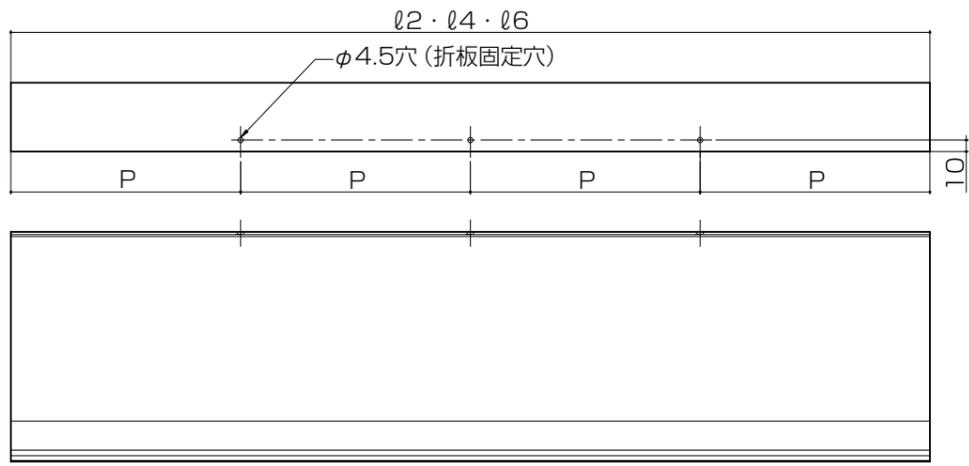
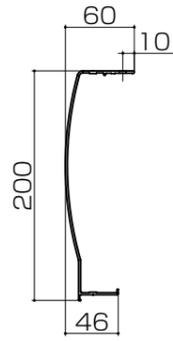
●部材切断寸法表

※部材の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1	—
ℓ2	—	L2+7
ℓ3	L3-49	—
ℓ4	—	L4-36
ℓ5	L5	—
ℓ6	—	L6

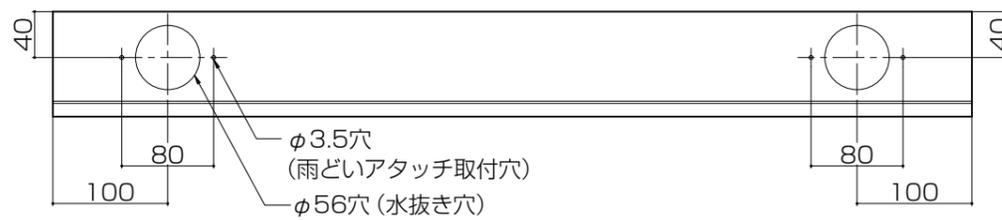
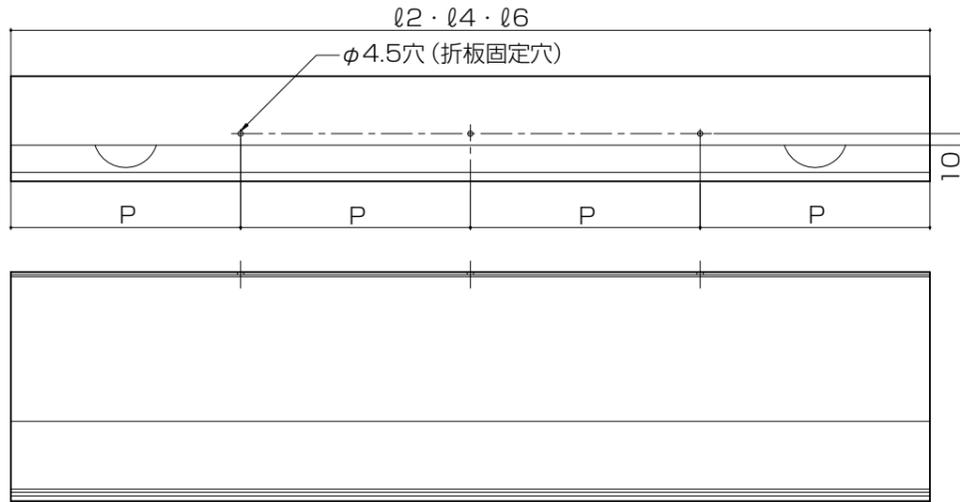
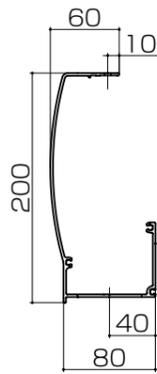
■加工図

●側枠水上



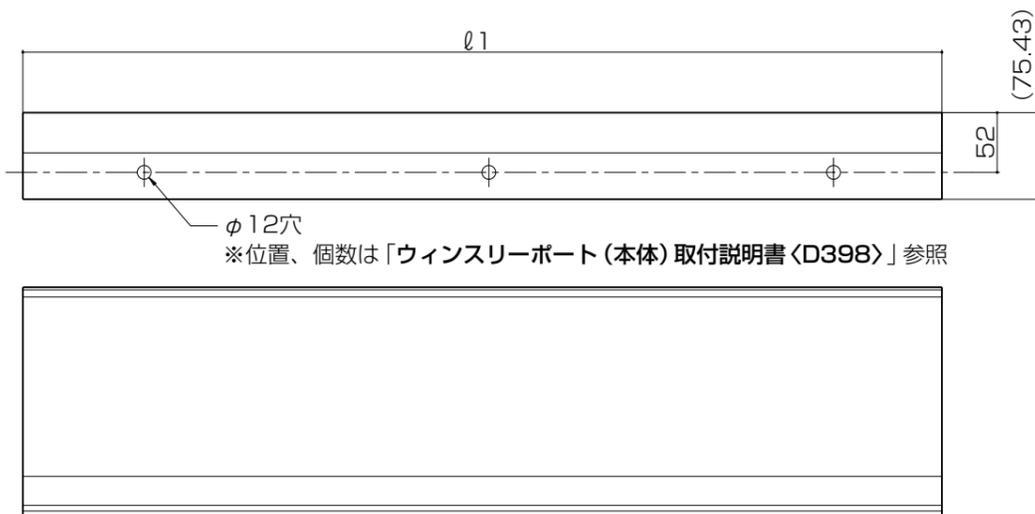
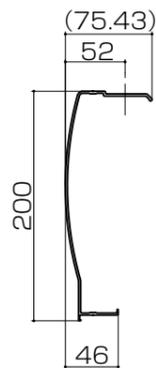
P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下

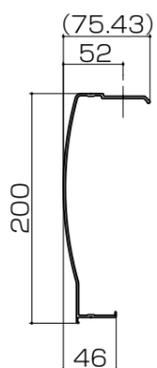


P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。
 ※雨どいアタッチ取付け穴および水抜き穴は柱側のみの片側加工になります。

●桁



●桁 (出入隅側)



2 正面台形

■製作制限

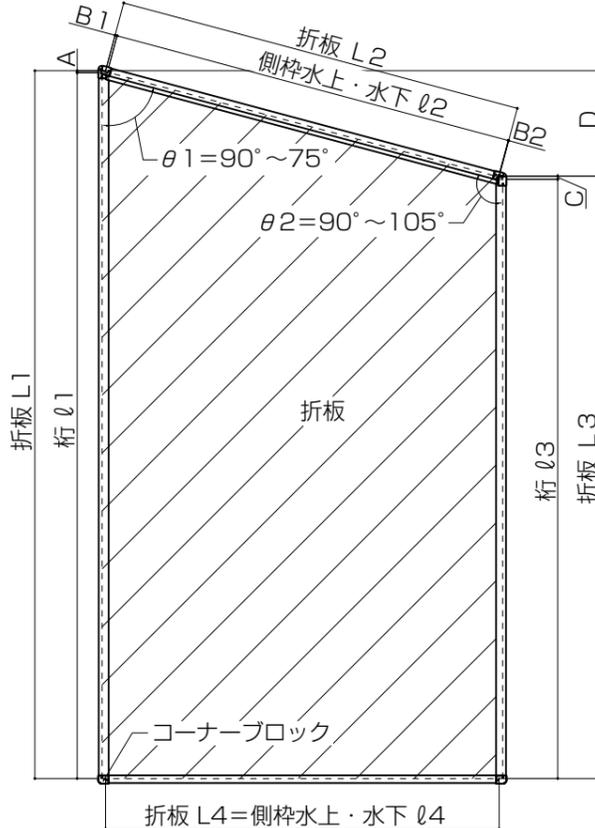
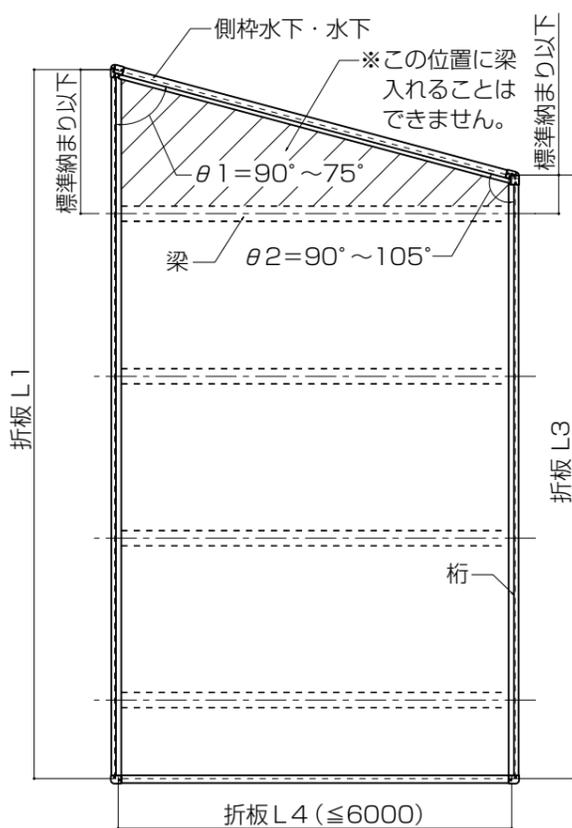
- ※基本図を参照の上、作製してください。
- ※折板は必ず2つ以上の梁(タイトフレーム)にとめてください。
- ※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- ※1台・2台用の設定となります。
- ※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- ※自在角度の範囲は75°~105°までです。
- ①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。
- ②敷地にあわせてL1、L3、L4を決めてください。
- ③折板は「**■折板切断部詳細図**」を参照の上、D寸法角度換算表で求めた角度からE値対応表にてE値を求めて切断してください。切断の際は、フェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。
- ※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。
- サビの原因となります。
- ※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- ④柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L4の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。(ウンスリーポート(本体)取付説明書(D398)参照)
- ⑤部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

●製作可能寸法表

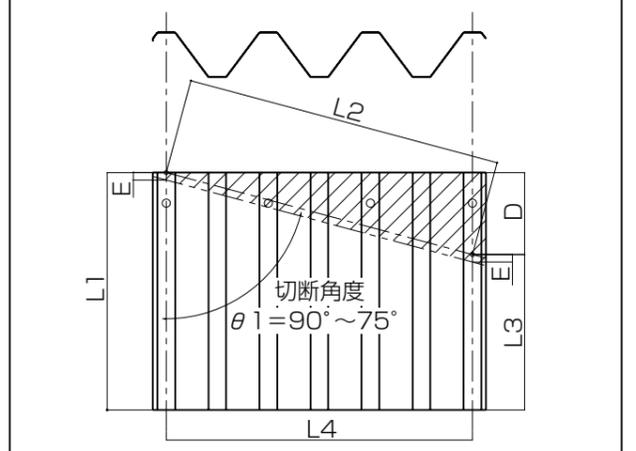
タイプ	サイズ		柱本数	正面台形 D	
	幅	長さ		最小	最大
900 1500	30	55	4	0	804
	30	60	4	0	804
	55	55	4	0	1050
	55	60	4	0	1050
	60	55	4	0	1247
3000	60	60	4	0	1166
	30	55	4	0	804
	30	55	6	0	475
	30	60	4	0	804
	30	60	6	0	475
	55	55	6	0	472
4500	55	60	6	0	472
	60	55	6	0	420
	60	60	6	0	420
	30	55	6	0	475
	30	60	6	0	475
	55	55	8	0	472
	55	60	8	0	472
60	55	8	0	420	
60	60	8	0	420	

●左記表のDは以下の式から求められます。

$$D = \text{枚数} \times 600 \times \tan(90 - \theta 1)$$



■折板切断部詳細図



※振れ角θ1は下記の表の範囲で作製してください。

	幅30	幅55	幅60
4本柱	75°~90°	77°~90°	79°~90°
6・8本柱	81°~90°	85°~90°	86°~90°

●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1-A	-
ℓ2	-	L2-B1-B2
ℓ3	L3-C	-
ℓ4	-	L4

[参考] 切断寸法A・B1・B2・Cの代表的な数値を示します。

θ1	θ2	A	B1	B2	C
~90°	90°	10	3	3	10
~87°	~93°	10	5	3	13
~84°	~96°	10	8	4	16
~81°	~99°	10	11	4	19
~78°	~102°	12	13	3	22
75°	~105°	15	16	3	25

●E値対応表(θ1)

θ1	E
~90°	0
~82°	4
75°	8

●左記表のEは以下の式から求められます。

$$E = 28 \times \tan(\theta 2 - 90^\circ) - 11 + \frac{11}{\cos(90^\circ - \theta 1)}$$

●左記表のA・B1・B2・Cは以下の式から求められます。

$$\theta 1 \geq 80^\circ \rightarrow A = 10$$

$$\theta 1 \geq 80^\circ \rightarrow A = 10 + (80 - \theta 1) \times \text{※角度を数値として代入}$$

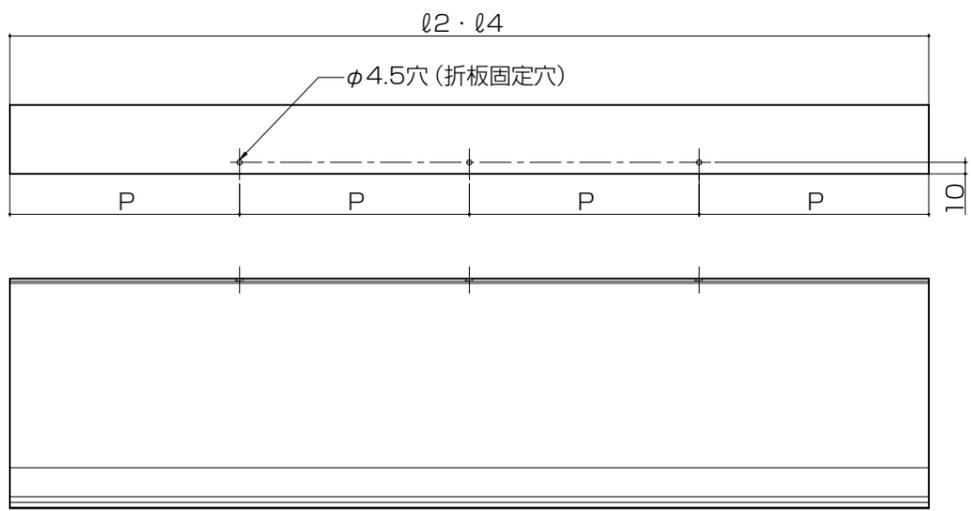
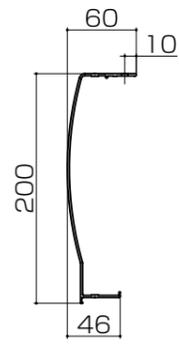
$$B1 = 31 - \frac{28}{\cos(90^\circ - \theta 1)} - (11 - 28 \times \tan(90^\circ - \theta 1)) \times \sin(90^\circ - \theta 1) + (90 - \theta 1) \times \text{※角度を数値として代入}$$

$$B2 = 31 - \frac{28}{\cos(\theta 2 - 90^\circ)} + (11 - 28 \times \tan(\theta 2 - 90^\circ)) \times \sin(\theta 2 - 90^\circ) \times \text{※角度を数値として代入}$$

$$C = 21 + (56 \times \tan(\theta 2 - 90^\circ) - 11)$$

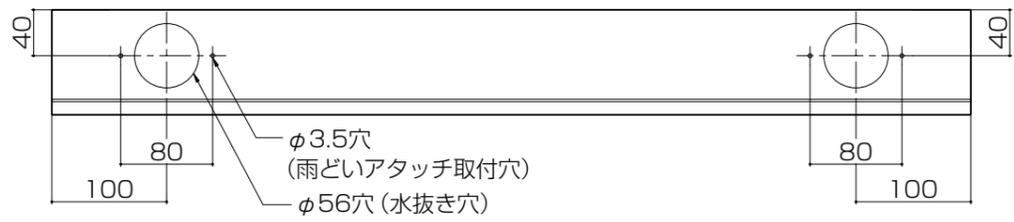
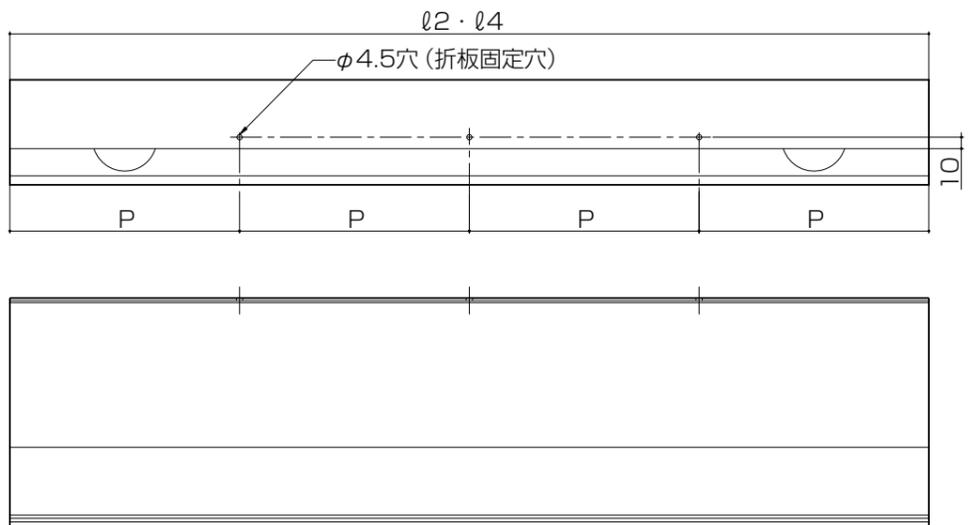
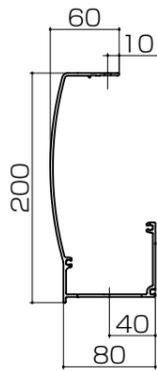
加工図

●側枠水上



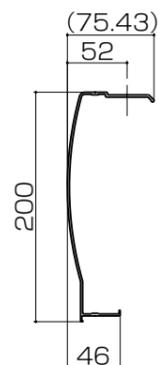
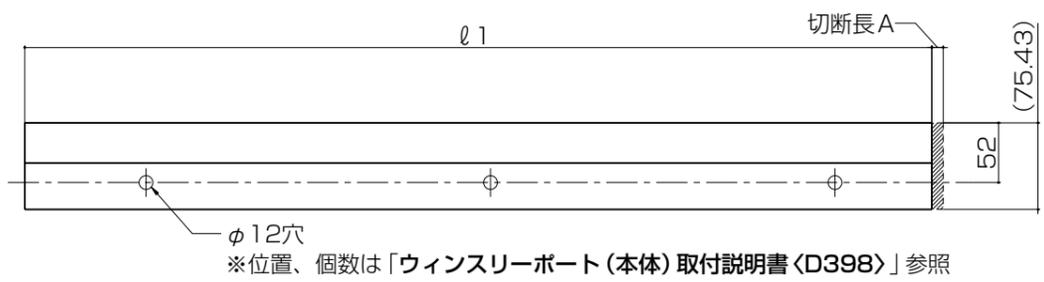
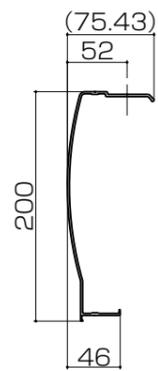
P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下



P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

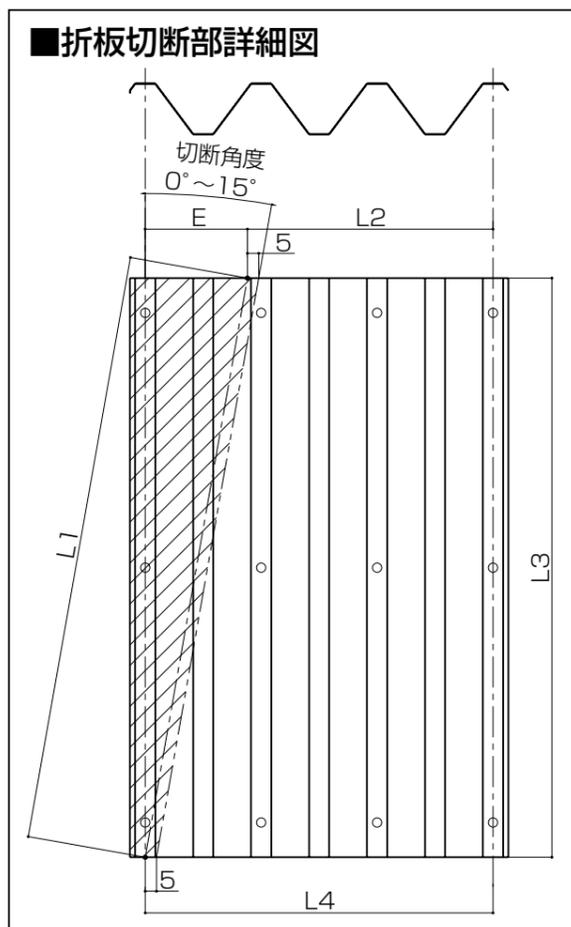
●桁



3 側面台形

■製作制限

- ※基本図を参照の上、作製してください。
- ※折板は必ず2つ以上の梁（タイトフレーム）にとめてください。
- ※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- ※1台・2台用の設定となります。
- ※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- ※自在角度の範囲は75°～105°までです。
- ①製作可能寸法表および対応角度一覧表の寸法範囲内で作製してください。
- ②敷地にあわせてL2、L3、L4を決めてください。
- ③折板は、「■折板切断部詳細図」を参照の上L2、L4から5mmを引いて切断してください。切断の際は、フェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。
- ※ケガキ線で折板にキズを付けしないでください。サビの原因となります。
- ※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- ④切断した折板からL1寸法を測ってください。
- ⑤柱本数・柱スパンなどは長さL3、幅L4の長方形とみなしてそのサイズ、強度に準じて作製してください。（ウンスリーポート（本体）取付説明書〈D398〉参照）
- ⑥E寸法角度換算表から角度を求め、梁切断寸法表を参照の上、梁を切断してください。
- ⑦部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。



●製作可能寸法表

タイプ	サイズ		柱本数	側面台形 E	
	幅	長さ		最小	最大
900	30	55	4	0	568
	30	60	4	0	631
	55	55	4	0	568
	55	60	4	0	631
	60	55	4	0	568
	60	60	4	0	631
1500	30	55	4	0	568
	30	55	6	0	952
	30	60	4	0	631
	30	60	6	0	950
	55	55	6	0	952
	55	60	6	0	950
3000	60	55	6	0	952
	60	60	6	0	950
	30	55	6	0	952
	30	60	6	0	950
	55	55	8	0	1346
	55	60	8	0	1166
4500	60	55	8	0	1346
	60	60	8	0	1166

※上記表のEは以下の式から求められます。

$$\begin{aligned} \text{長さ55タイプ} & 5400 \times \tan(90 - \theta 1) \\ \text{長さ60タイプ} & 6000 \times \tan(90 - \theta 1) \end{aligned}$$

●梁切断寸法表

※この表はL4=6000mmの場合の数値です。
L4が5400mmの場合は600mm、3000mmの場合は3000mmを表の数値から引いてください。

※上段：長さ55サイズ、下段：長さ60サイズ

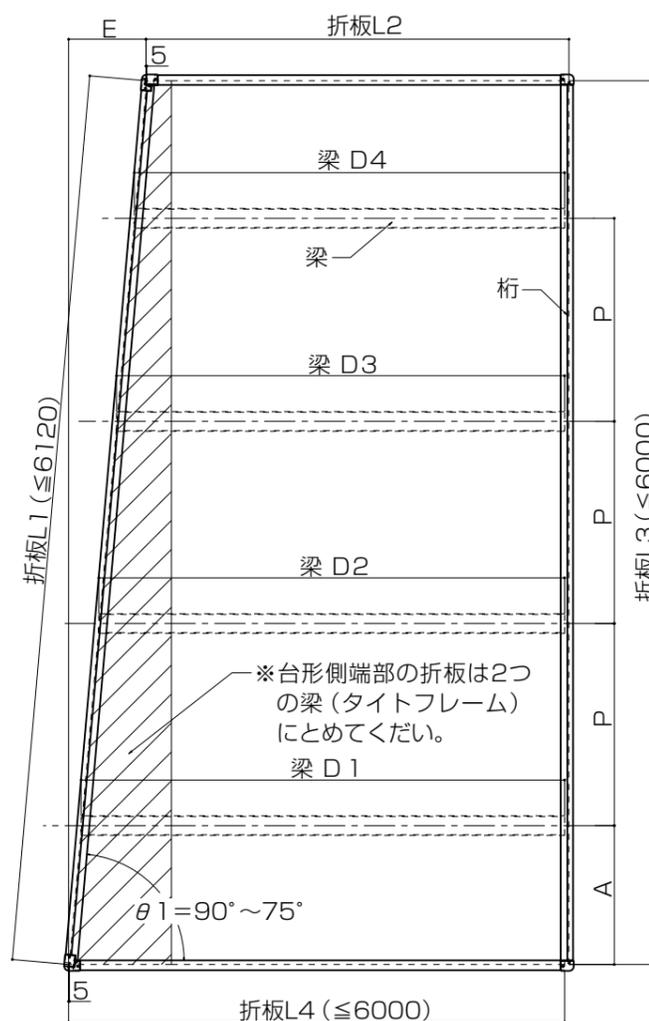
柱本数	4本柱		6本柱			8本柱			
A	1199 (1499)		599			599			
P	3000		2100 (2400)			1400 (1600)			
梁記号	D1	D2	D1	D2	D3	D1	D2	D3	D4
90°	5972	5972	5972	5972	5972	5972	5972	5972	5972
89°	5950	5897	5960	5924	5887	5960	5936	5911	5887
88°	5928	5823	5949	5875	5802	5949	5900	5851	5802
87°	5905	5748	5937	5827	5717	5937	5864	5790	5717
86°	5883	5673	5925	5778	5631	5925	5827	5729	5631
85°	5861	5598	5913	5730	5546	5913	5791	5668	5546
84°	5838	5523	5902	5681	5460	5902	5754	5607	5460
83°	-	-	5890	5632	5374	5890	5718	5546	5374
82°	-	-	5878	5583	5287	5878	5681	5484	5287
81°	-	-	5866	5533	5200	5866	5644	5422	5200
80°	-	-	5854	5483	5113	5854	5607	5360	5113
79°	-	-	-	-	-	5841	5569	5297	5025
78°	-	-	-	-	-	5829	5532	5234	4936
77°	-	-	-	-	-	5817	5494	5170	4847
76°	-	-	-	-	-	5804	5455	5106	4757
75°	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●対応角度一覧表 (θ1)

タイプ	長さ55	長さ60
4本柱	84°～90°	84°～90°
6本柱	80°～90°	81°～90°
8本柱	76°～90°	79°～90°

●E寸法角度換算表 (θ1)

E	長さサイズ	
	55	60
100	89°	89°
200	88°	88°
300	87°	87°
400	86°	86°
500	85°	85°
600	84°	84°
700	83°	83°
800	82°	82°
900	81°	81°
1000	80°	81°
1100	78°	80°
1200	77°	79°
1300	76°	78°
1400	75°	77°



●梁の寸法D1・D2・D3・D4は下記の式より求められます。

$$\begin{aligned} \text{梁D1} &= L4 - (A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\ \text{梁D2} &= L4 - (P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\ \text{梁D3} &= L4 - (P + P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \\ \text{梁D4} &= L4 - (P + P + P + A + 11 + 59.5 + \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1) - \frac{22}{\cos(90 - \theta 1)} - (5 + \cos(90 - \theta 1)) \end{aligned}$$

●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
ℓ1	L1-A1-A2	-
ℓ2	-	L2-B
ℓ3	L3	-
ℓ4	-	L4-C

[参考] 切断寸法A1・A2・B・Cの代表的な数値を示します。

θ1	A1	A2	B	C
90°	15	15	31	31
85°	15	15	33	36
80°	15	14	35	41
75°	15	14	37	46

●上記表のA1・A2・B・Cは以下の式から求められます。

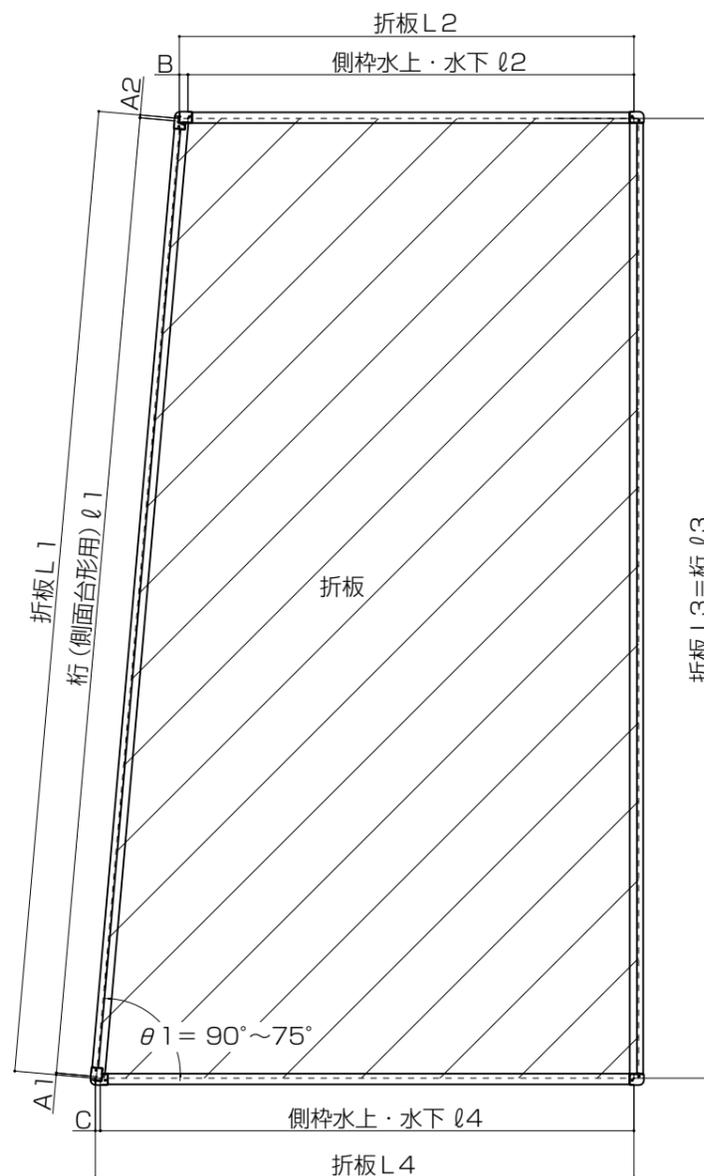
$$A1 = 26 - \frac{11}{\cos(90 - \theta 1)}$$

$$A2 = 26 - \frac{11}{\cos(90 - \theta 1)} - (11 \times \sin(90 - \theta 1)) \times \tan(90 - \theta 1)$$

$$B = 31 + 22 \times \tan(90 - \theta 1)$$

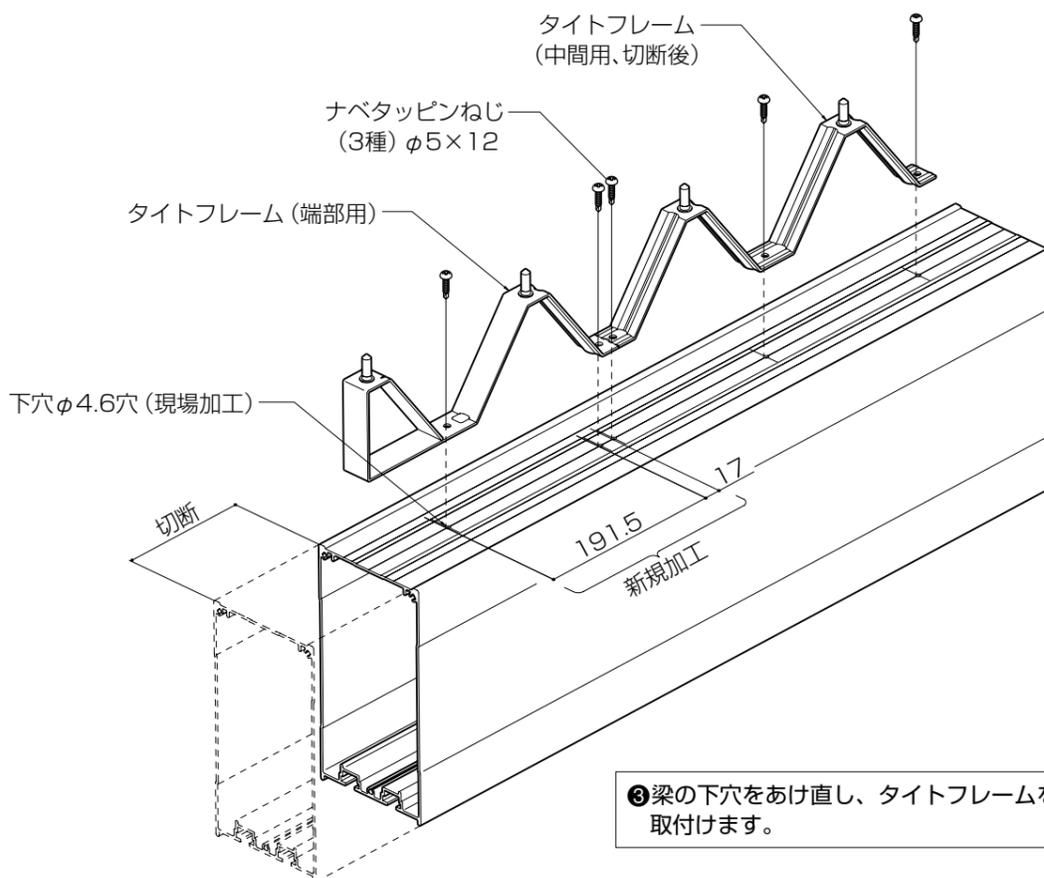
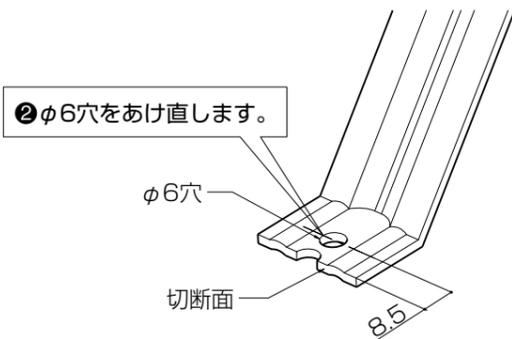
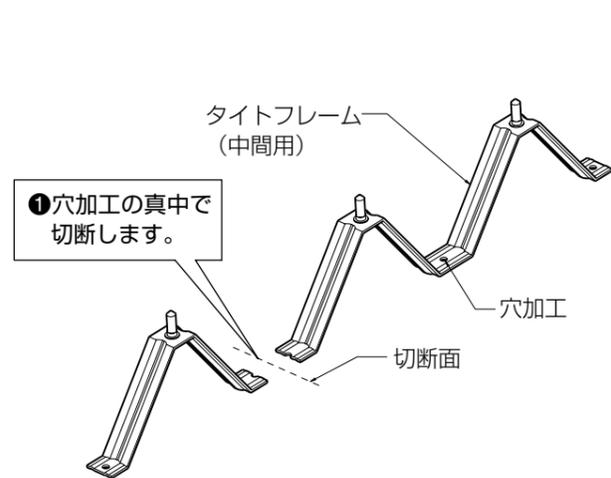
$$C = 31 + (90 - \theta 1) \times \tan(90 - \theta 1)$$

※角度を数値として代入



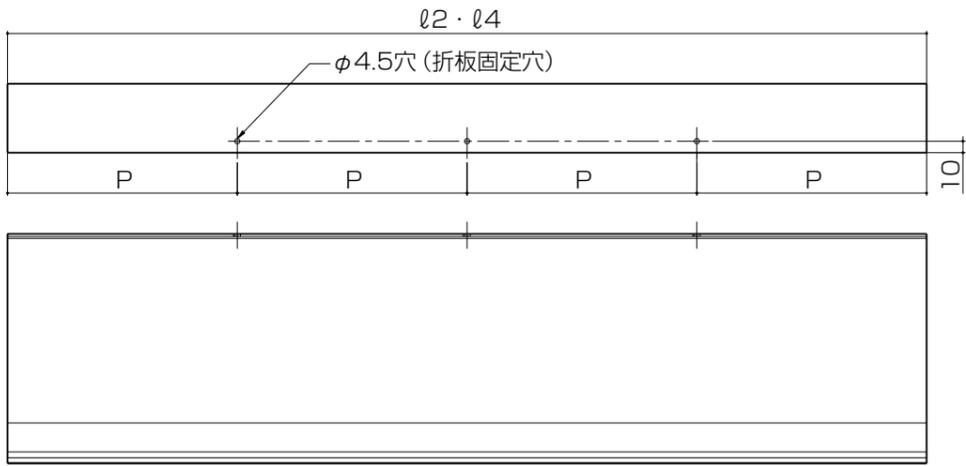
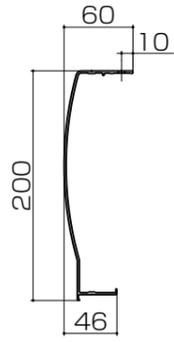
※θ1は鋭角側

※梁の切断寸法が600mm (タイトフレーム中間用1個分) の倍数でない場合、タイトフレームの切断加工が必要になります。



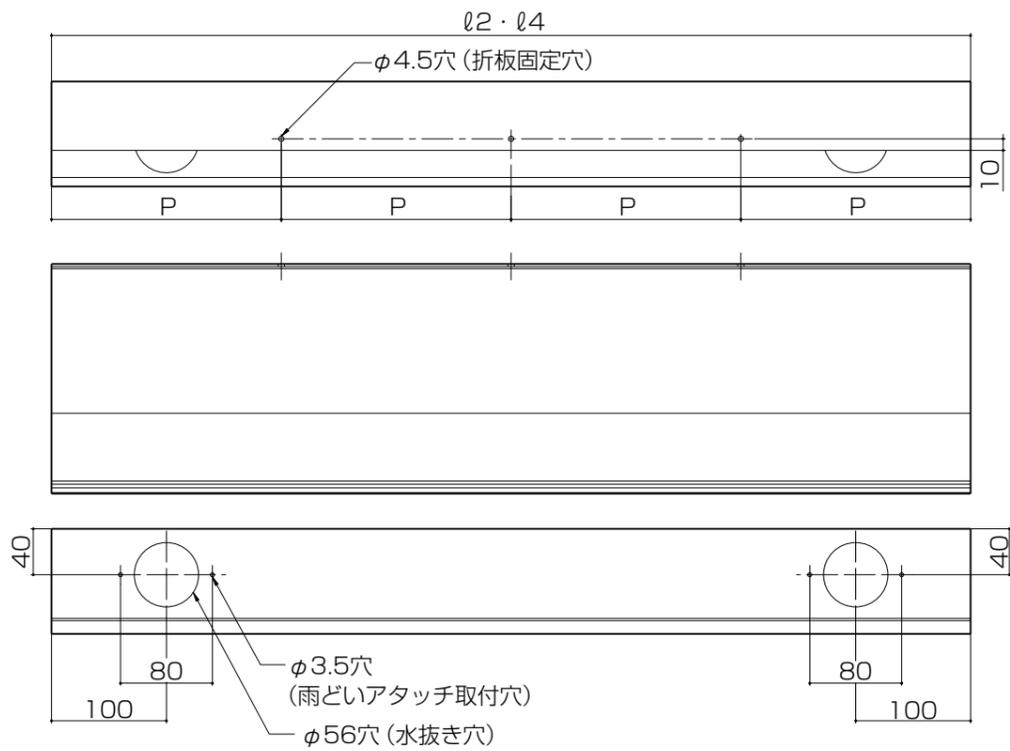
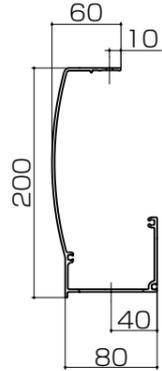
加工図

●側枠水上



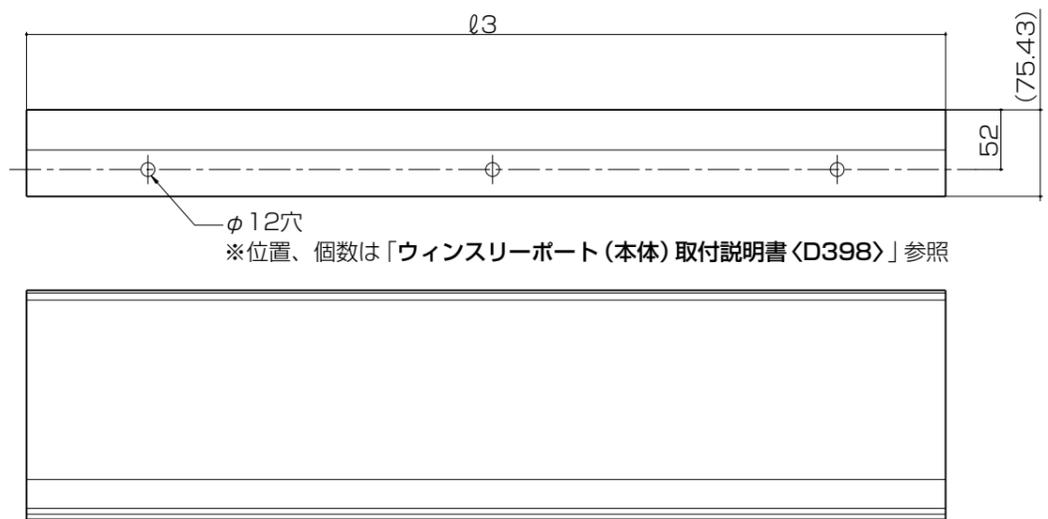
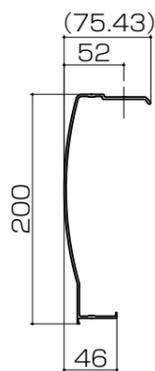
P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●側枠水下

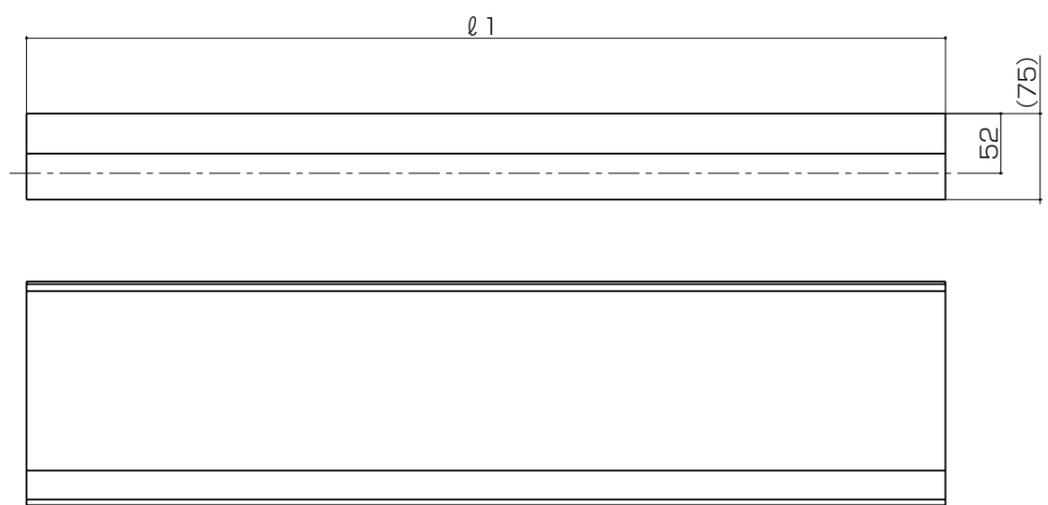
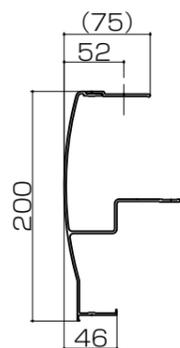


P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●桁



●桁 (側面台形側) および 桁カバー (側面台形側)



4 隅切り

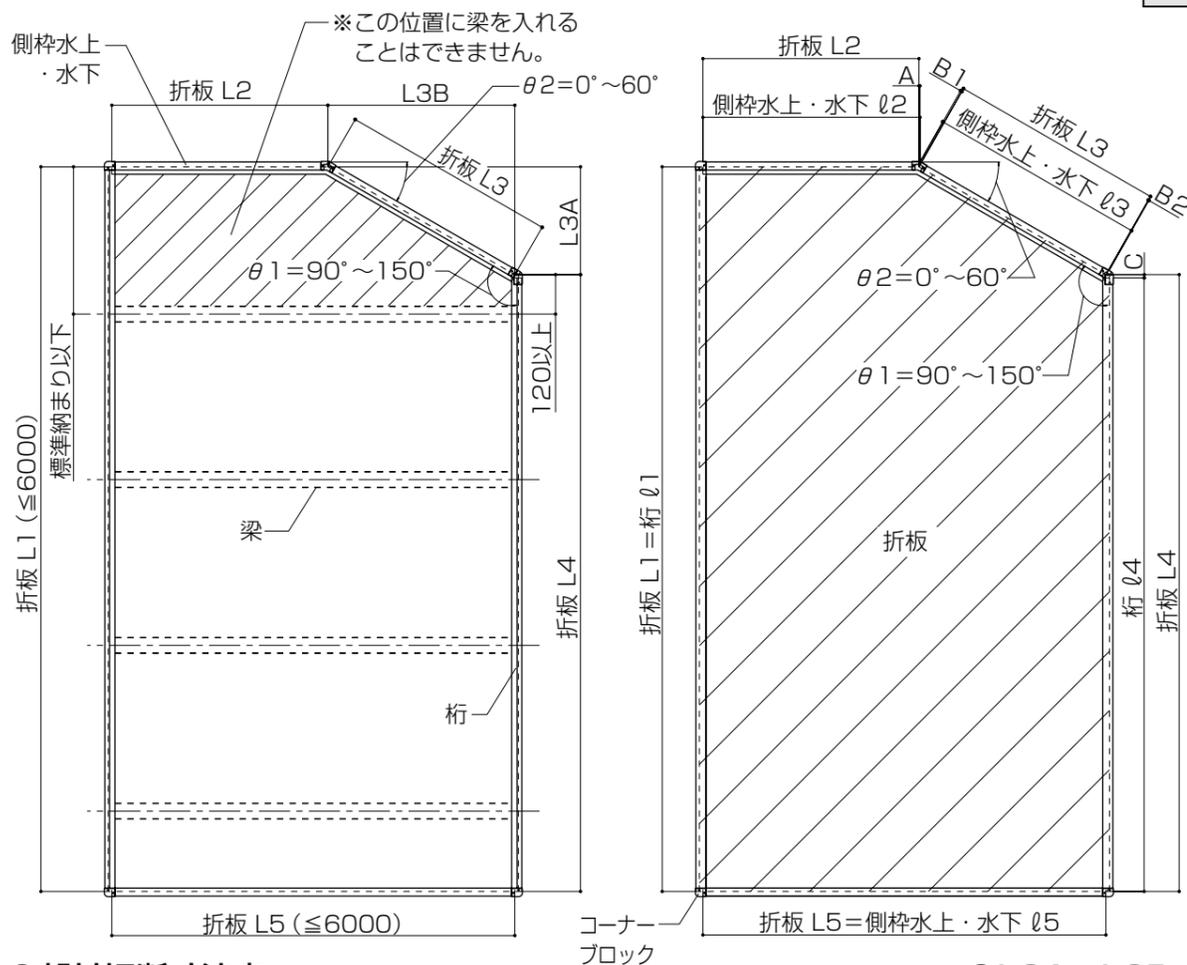
■製作制限

- ※基本図を参照の上、作製してください。
- ※折板は必ず2つ以上の梁（タイトフレーム）にとめてください。
- ※折板の梁からの持出し寸法は標準納まり以下にしてください。
- ※1台・2台用の設定となります。
- ※型材のL寸法が6120mmを超えるものは製作できません。
- ※自在角度の範囲は0°～60°までです。
- ①製作可能寸法表の寸法範囲内で作製してください。
- ②敷地にあわせてL1、L3A、L3B、L5を決めてください。
- ③折板は、「■折板切断部詳細図」を参照の上、山の中心から角度を設定しフェルトペン又はテープなどで切断位置を記し切断します。
- ※ケガキ線で折板にキズを付けないでください。サビの原因となります。
- ※折板から切粉を取除いてください。サビの原因となります。
- ④切断した折板からL3寸法を測ってください。
- ⑤柱本数・柱スパンなどは長さL1、幅L5の長方形とみなしてそのサイズに準じて作製してください。（ウンスリーポート（本体）取付説明書〈D398〉参照）
- ⑥作製する隅切りの角度を、L3A・L3B寸法角度換算表から求めます。
- ⑦部材切断寸法表を参照の上、桁・側枠を切断、加工してください。

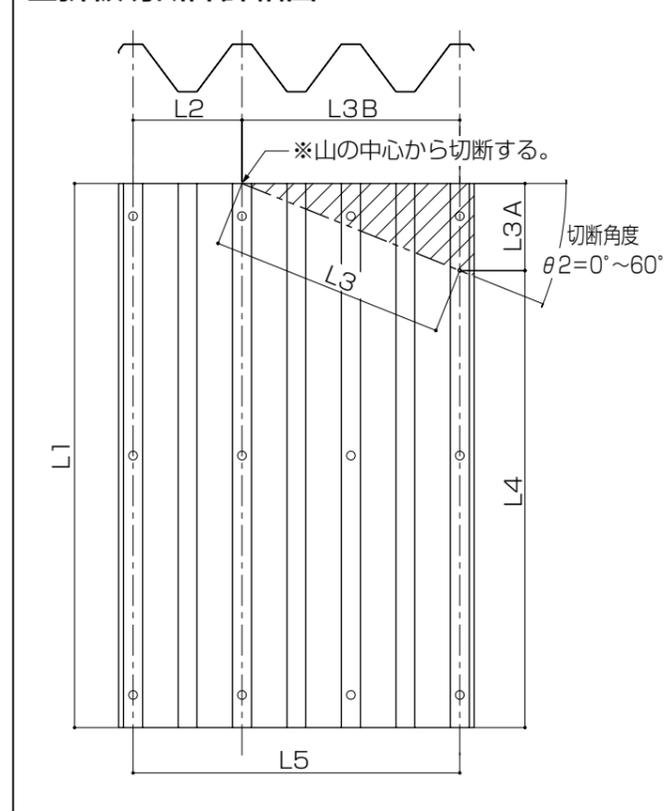
●製作可能寸法表

※隅切りはL3A、L3Bの値により相互の最大値が変動します。

タイプ	サイズ		柱本数	隅切り			
	幅	長さ		L3A		L3B	
				最小	最大	最小	最大
900 ・ 1500	30	55	4	0	1079	105	2915
	30	60	4	0	1379	105	2915
	55	55	4	0	1079	105	5315
	55	60	4	0	1379	105	5315
	60	55	4	0	1079	105	5915
	60	60	4	0	1379	105	5915
3000	30	55	4	0	1079	105	2915
	30	55	6	0	479	105	2915
	30	60	4	0	1379	105	2915
	30	60	6	0	479	105	2915
	55	55	6	0	479	105	5315
	55	60	6	0	479	105	5315
4500	60	55	6	0	479	105	5915
	60	60	6	0	479	105	5915
	30	55	6	0	479	105	2915
	30	60	6	0	479	105	2915
	55	55	8	0	479	105	5315
	55	60	8	0	479	105	5315
	60	55	8	0	479	105	5915
	60	60	8	0	479	105	5915



■折板切断部詳細図



●部材切断寸法表

※桁・側枠の切断長は折板の寸法を基準にして求めています。

	桁	側枠
φ1	L1	-
φ2	-	L2+A
φ3	-	L3+B1+B2
φ4	L4-C	-
φ5	-	L5

[参考] 切断寸法A・B1・B2・Cの代表的な数値を示します。

θ1	θ2	A	B1	B2	C
90°～	0°～	0	0	7	10
95°～	5°～	2	2	6	12
100°～	10°～	3	3	5	15
105°～	15°～	5	5	5	17
110°～	20°～	6	6	5	19
115°～	25°～	8	8	5	22
120°～	30°～	9	9	5	24
125°～	35°～	11	11	5	27
130°～	40°～	13	13	6	30
135°～	45°～	14	14	8	33
140°～	50°～	16	16	9	37
145°～	55°～	18	18	12	42
150°	60°～	20	20	16	47

●上記表のA・B1・B2・Cは以下の式より求めます。

$$A = 35 \times \tan(\theta 2 / 2) \quad B2 = \frac{28}{\cos(\theta 1 - 90)} - 21 - 11 \times \tan(\theta 1 - 90)$$

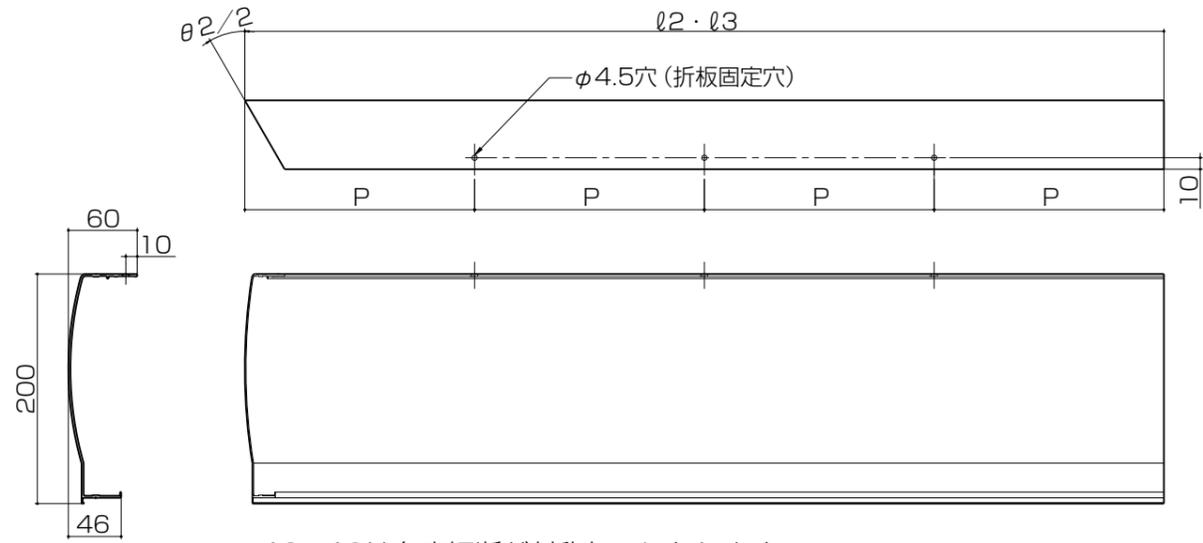
$$B1 = 35 \times \tan(\theta 2 / 2) \quad C = 28 \times \tan(\theta 1 - 90) + (21 - \frac{11}{\cos(\theta 1 - 90)})$$

●L3A・L3B寸法角度換算表(θ1)

L3A	L3B									
	~600	~1200	~1800	~2400	~3000	~3600	~4200	~4800	~5400	~6000
50	95°	92°	92°	91°	91°	91°	91°	91°	91°	90°
~100	99°	95°	93°	92°	92°	92°	91°	91°	91°	91°
~150	104°	97°	95°	94°	93°	92°	92°	92°	92°	91°
~200	108°	99°	96°	95°	94°	93°	93°	92°	92°	92°
~250	113°	102°	98°	96°	95°	94°	93°	93°	93°	92°
~300	117°	104°	99°	97°	96°	95°	94°	94°	93°	93°
~350	120°	106°	101°	98°	97°	96°	95°	94°	94°	93°
~400	124°	108°	103°	99°	98°	96°	95°	95°	94°	94°
~450	127°	111°	104°	101°	99°	97°	96°	95°	95°	94°
~500	130°	113°	106°	102°	99°	98°	97°	96°	95°	95°
~550	133°	115°	107°	103°	100°	99°	97°	97°	96°	95°
~600	135°	117°	108°	104°	101°	99°	98°	97°	96°	96°
~650	137°	118°	110°	105°	102°	100°	99°	98°	97°	96°
~700	139°	120°	111°	106°	103°	101°	99°	98°	97°	97°
~750	141°	122°	113°	107°	104°	102°	100°	99°	98°	97°
~800	143°	124°	114°	108°	105°	103°	101°	99°	98°	98°
~850	145°	125°	115°	110°	106°	103°	101°	100°	99°	98°
~900	146°	127°	117°	111°	107°	104°	102°	101°	99°	99°
~950	148°	128°	118°	112°	108°	105°	103°	101°	100°	99°
~1000	149°	130°	119°	113°	108°	106°	103°	102°	100°	99°
~1050	150°	131°	120°	114°	109°	106°	104°	102°	101°	100°
~1100	-	133°	121°	115°	110°	107°	105°	103°	102°	100°
~1150	-	134°	123°	116°	111°	108°	105°	103°	102°	101°
~1200	-	135°	124°	117°	112°	108°	106°	104°	103°	101°
~1250	-	136°	125°	118°	113°	109°	107°	105°	103°	102°
~1300	-	137°	126°	118°	113°	110°	107°	105°	104°	102°
~1350	-	138°	127°	119°	114°	111°	108°	106°	104°	103°
~1400	-	139°	128°	120°	115°	111°	108°	106°	105°	103°

加工図

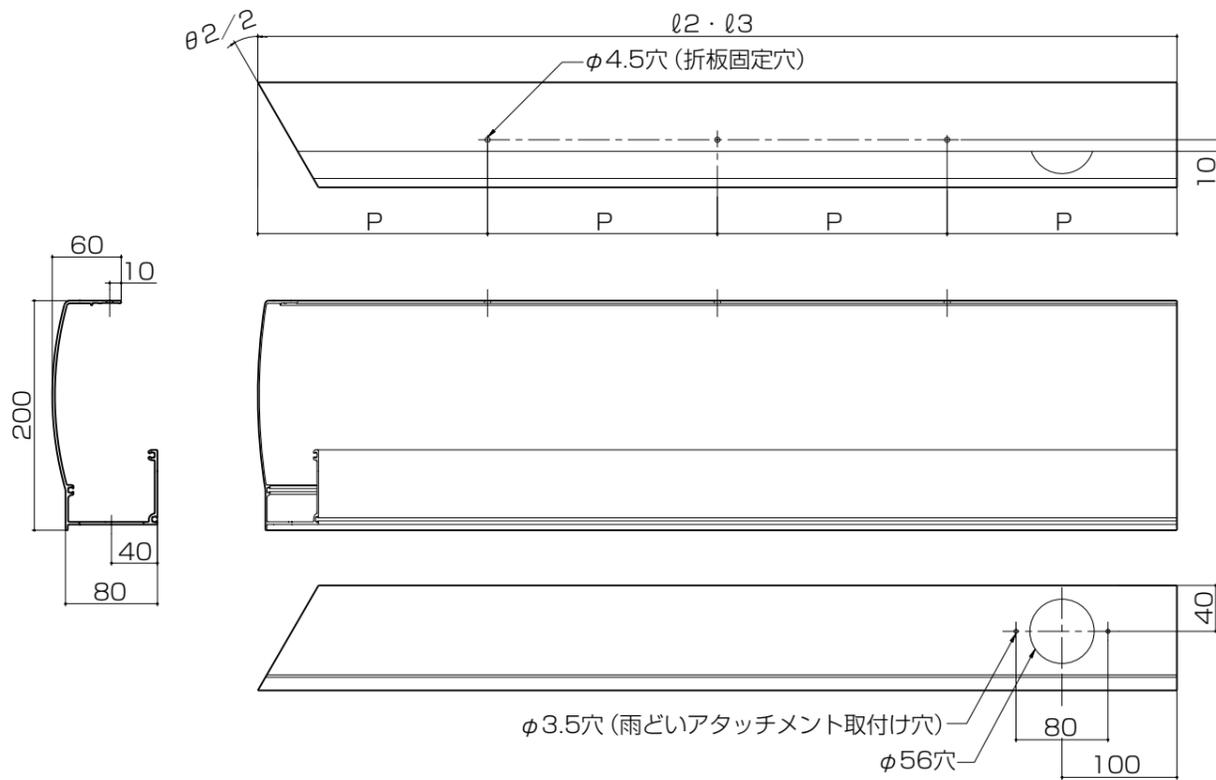
●側枠水上



※ $l2 \cdot l3$ は角度切断が対称加工になります。

※P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

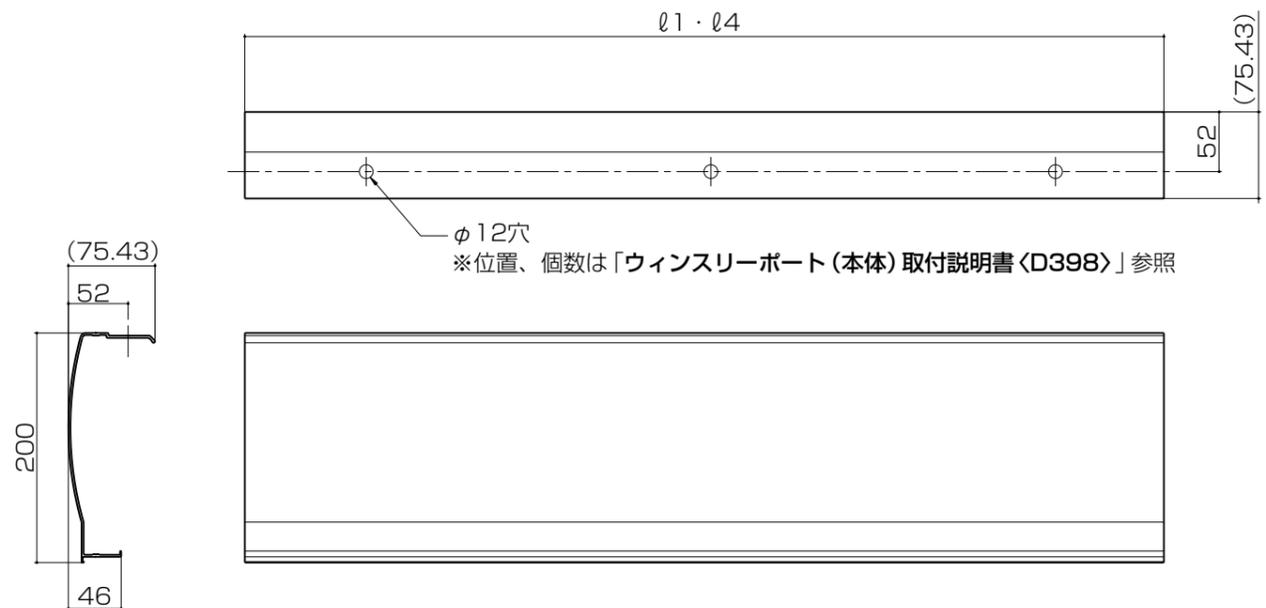
●側枠水下



※ $l2 \cdot l3$ は角度切断が対称加工になります。

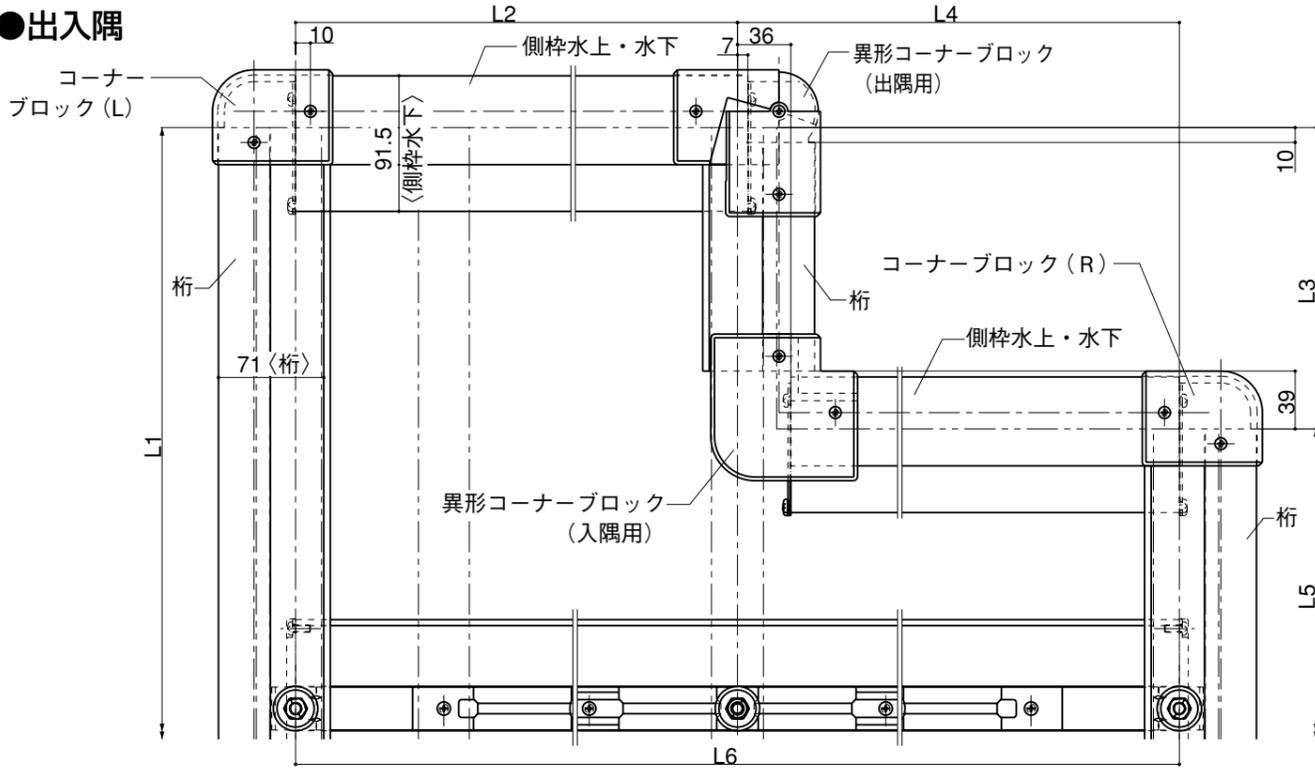
※P：折板固定穴はコーナブロック直近の山と折板の重なり部の山の位置にあけてください。

●桁

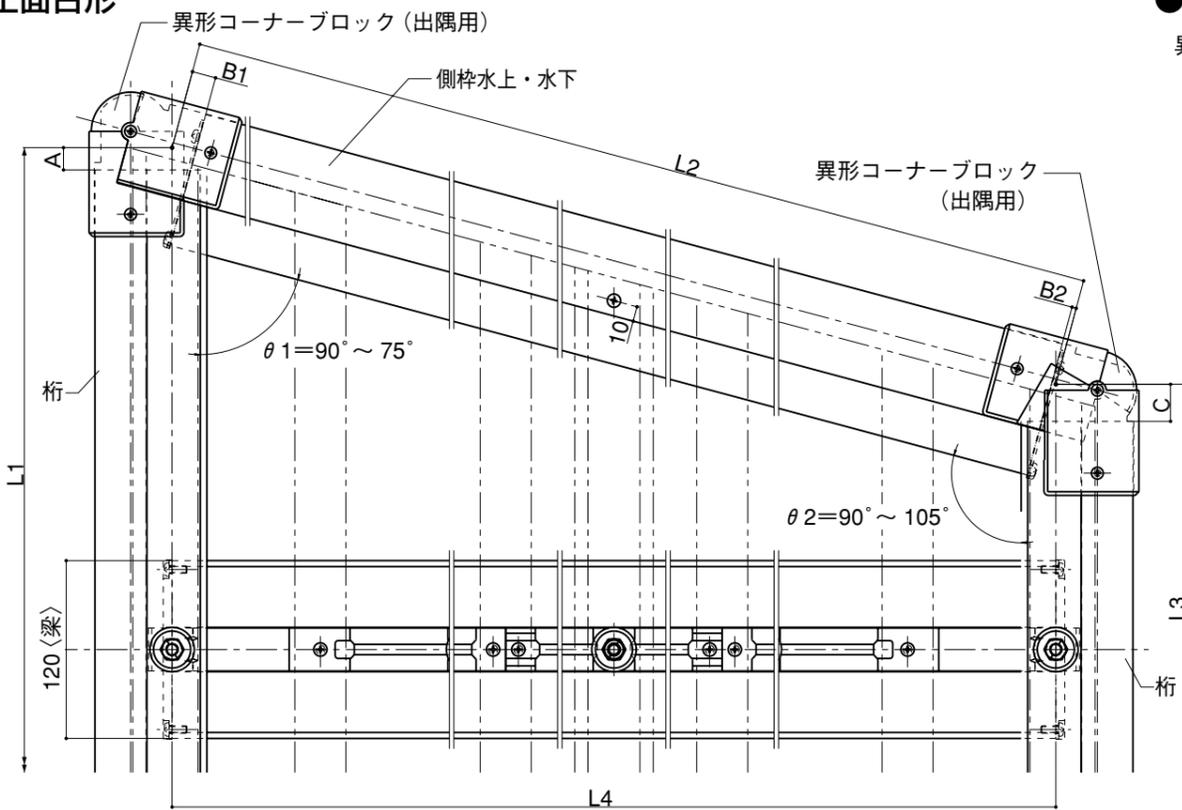


■ 姿図・基本図

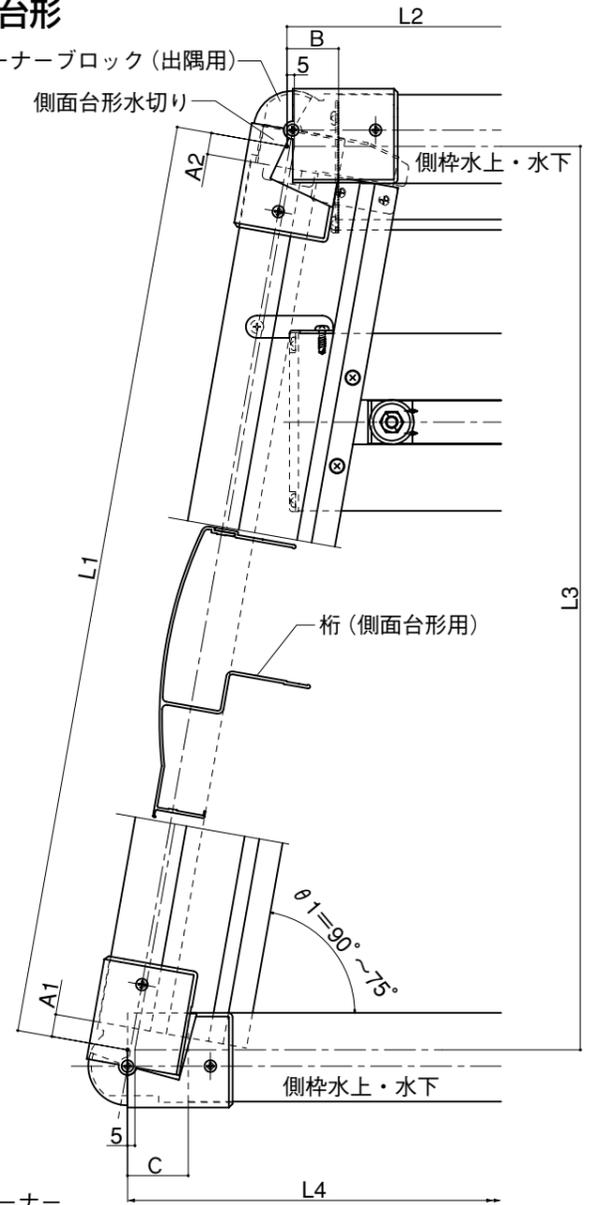
● 出入隅



● 正面台形



● 側面台形



● 隅切り

